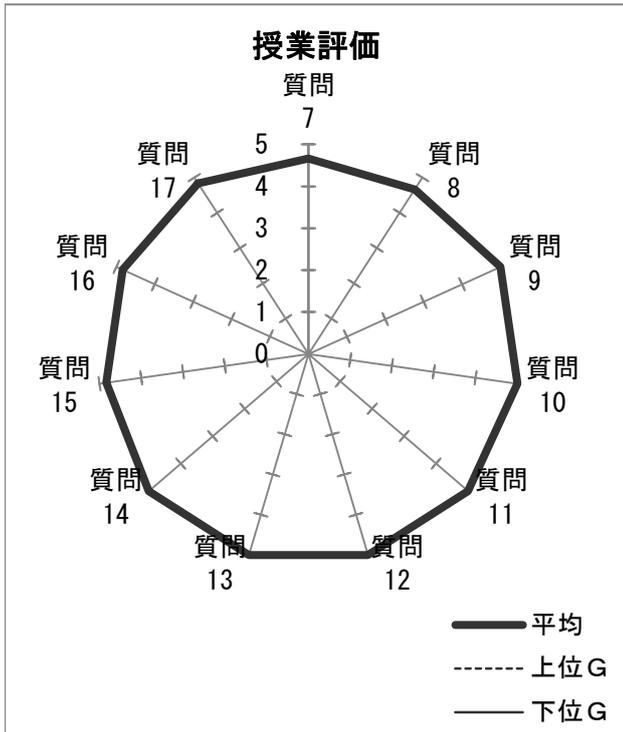


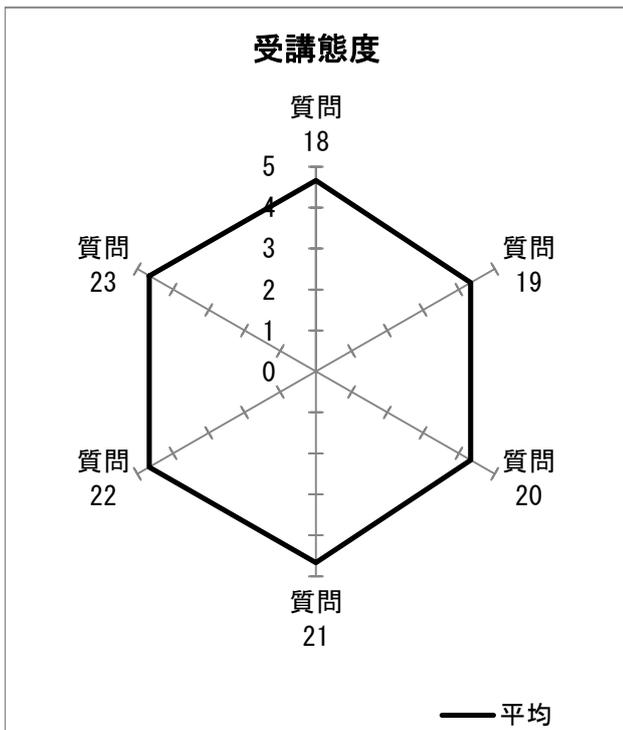
科目コード 800 (2017年度 前期)

健康生活学部 子ども学科 政次 カレン Reading Activities I



質問項目	平均	上位G	下位G
質問 7	4.7	4.7	#DIV/0!
質問 8	4.7	4.7	#DIV/0!
質問 9	5.0	5.0	#DIV/0!
質問10	5.0	5.0	#DIV/0!
質問11	5.0	5.0	#DIV/0!
質問12	5.0	5.0	#DIV/0!
質問13	5.0	5.0	#DIV/0!
質問14	5.0	5.0	#DIV/0!
質問15	4.8	4.8	#DIV/0!
質問16	4.8	4.8	#DIV/0!
質問17	4.8	4.8	#DIV/0!
平均	4.9	4.9	#DIV/0!

- 質問 7 : 授業の目標説明とシラバスに沿った実施
- 質問 8 : 教員の授業時間遵守
- 質問 9 : 教員の話し方
- 質問10 : 教材・機器・板書等の効果的な使用
- 質問11 : 教員の説明のわかり易さ
- 質問12 : 教員の授業環境に対する配慮 (私語の注意等)
- 質問13 : 質問機会の確保と質問への適切な対応
- 質問14 : 学生の理解度の確認と授業への反映
- 質問15 : (自分は) 授業を理解できたと思うか
- 質問16 : 授業は興味・関心・意欲を引き出したか
- 質問17 : 新しい知識・技術・理論等の習得への有用性



質問項目	平均
質問18	4.7
質問19	4.3
質問20	4.3
質問21	4.7
質問22	4.7
質問23	4.7
平均	4.6

- 質問18 : (自分は) 授業に真面目に取り組んだと思うか
- 質問19 : 授業内容や到達目標を理解して受講したか
- 質問20 : 欠席回数 (0回→5ポイント、1回→4、2回→3…)
- 質問21 : 授業の予習・復習をおこなったか
- 質問22 : レポート・課題等に積極的に取り組んだか
- 質問23 : 私語・携帯電話等の自粛、教員及び他者の発言傾聴

学 部 名	学 科 名	担当者名	科 目 名	履修者数
健康生活	子ども	政次カレン	Reading Activities I	9

2017 年度前期授業評価アンケート集計結果 : 教員による分析・評価と 2018 年度に向けての取り組み

I. 分析と評価

Students were satisfied with this class. They worked hard to plan, prepare and carry out read-aloud events for parents and children at Storyland. In doing so they read numerous English picture books, learned about the books' background and cultural significance, and improved their own English listening and speaking skills. At the events themselves students successfully carried out their activities and interacted actively with attending parents and children, in both English and Japanese. Students could experience first-hand how the children reacted to the books and activities, which in turn motivated the students to improve their English. The students' ability levels were mixed but the cooperative nature of the class enabled them to help and support each other, to use their particular strengths, and to learn from each other.

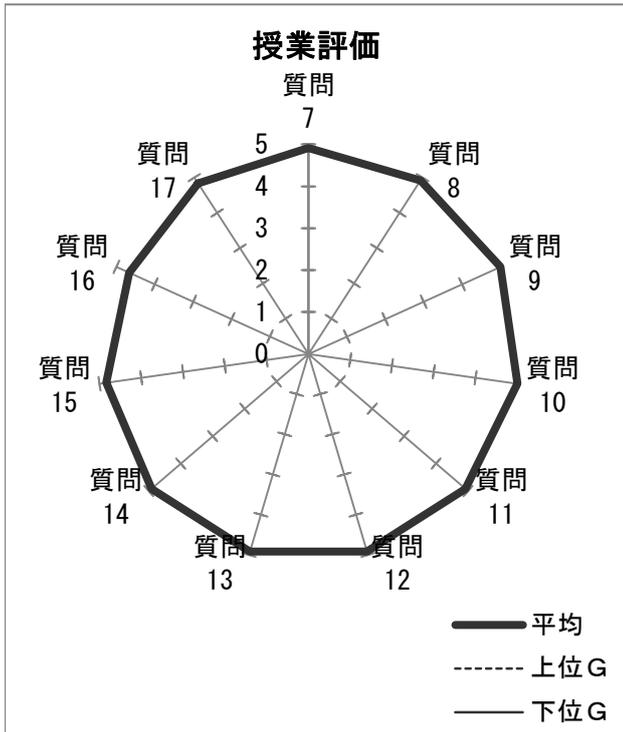
II. 2018 年度に向けての取り組み

2018 年度担当予定科目名 : Reading Activities I

As previously, I will try to encourage greater use of English by the students during in-class activities and at the events. I will also try to help the students set clearer goals for themselves for this course, and to give more concrete and substantial feedback.

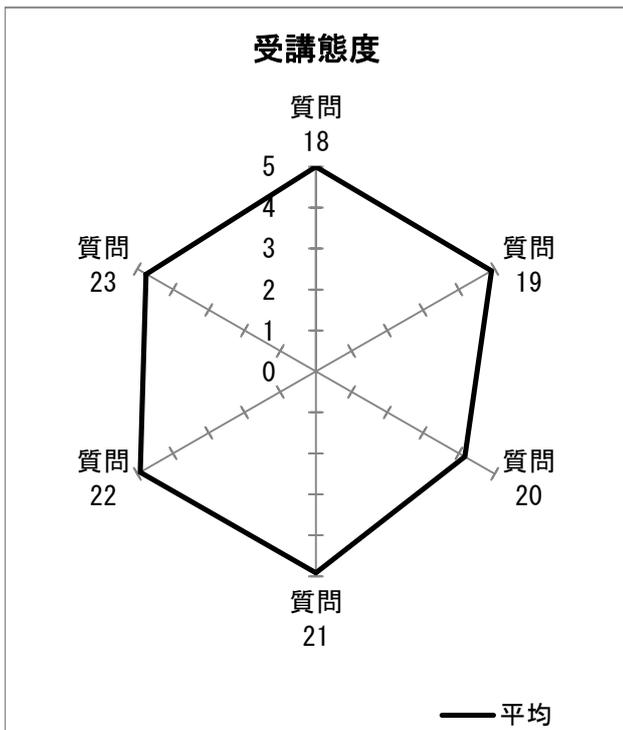
科目コード 801 (2017年度 前期)

健康生活学部 子ども学科 政次 カレン Early Childhood English Education Workshop I



質問項目	平均	上位G	下位G
質問 7	4.9	4.9	#DIV/0!
質問 8	4.9	4.9	#DIV/0!
質問 9	5.0	5.0	#DIV/0!
質問10	5.0	5.0	#DIV/0!
質問11	4.9	4.9	#DIV/0!
質問12	4.9	4.9	#DIV/0!
質問13	4.9	4.9	#DIV/0!
質問14	4.9	4.9	#DIV/0!
質問15	4.8	4.8	#DIV/0!
質問16	4.7	4.7	#DIV/0!
質問17	4.8	4.8	#DIV/0!
平均	4.9	4.9	#DIV/0!

- 質問 7 : 授業の目標説明とシラバスに沿った実施
- 質問 8 : 教員の授業時間遵守
- 質問 9 : 教員の話し方
- 質問10 : 教材・機器・板書等の効果的な使用
- 質問11 : 教員の説明のわかり易さ
- 質問12 : 教員の授業環境に対する配慮 (私語の注意等)
- 質問13 : 質問機会の確保と質問への適切な対応
- 質問14 : 学生の理解度の確認と授業への反映
- 質問15 : (自分は) 授業を理解できたと思うか
- 質問16 : 授業は興味・関心・意欲を引き出したか
- 質問17 : 新しい知識・技術・理論等の習得への有用性



質問項目	平均
質問18	5.0
質問19	4.9
質問20	4.2
質問21	4.9
質問22	4.9
質問23	4.8
平均	4.8

- 質問18 : (自分は) 授業に真面目に取り組んだと思うか
- 質問19 : 授業内容や到達目標を理解して受講したか
- 質問20 : 欠席回数 (0回→5ポイント、1回→4、2回→3…)
- 質問21 : 授業の予習・復習をおこなったか
- 質問22 : レポート・課題等に積極的に取り組んだか
- 質問23 : 私語・携帯電話等の自粛、教員及び他者の発言傾聴

学 部 名	学 科 名	担当者名	科 目 名	履修者数
健康生活	子ども	政次カレン	Early Childhood English Education Workshop I	14

2017年度前期授業評価アンケート集計結果：教員による分析・評価と2018年度に向けての取り組み

I. 分析と評価

Students seem very satisfied with this class. They worked hard to complete in-class tasks and teaching activities, and to plan, prepare and teach an English class to 5th or 6th graders at a local elementary school. Mostly students supported each other well, although one student had a problem with attendance.

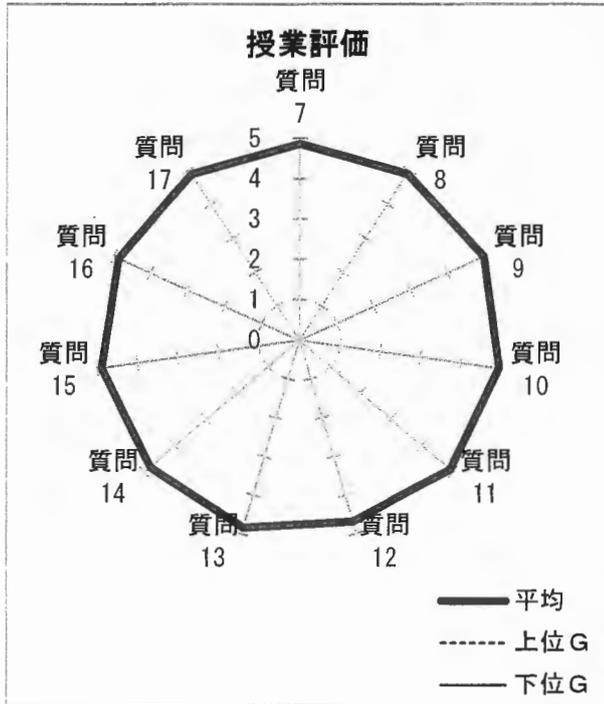
II. 2018年度に向けての取り組み

2018年度担当予定科目名：Early Childhood English Education Workshop I

The class seems to be successful in its current format, although I would like the students to use more English in class, and to improve my assessment and feedback methods.

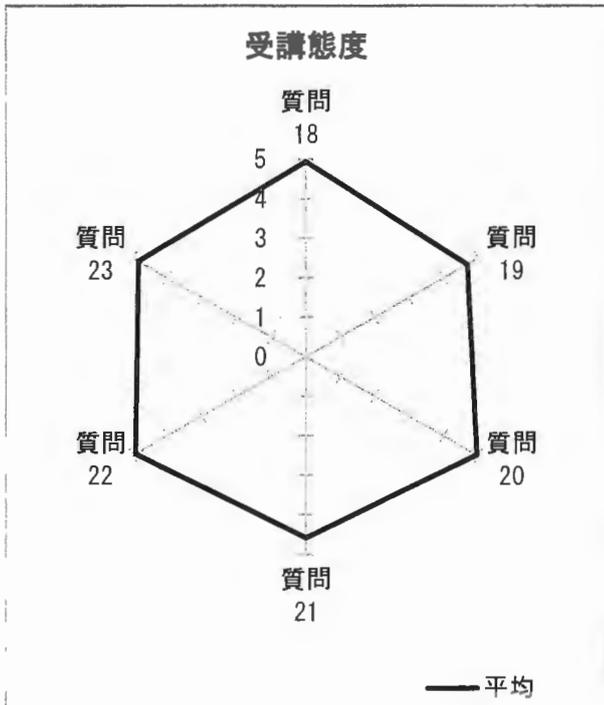
科目コード 802 (2017年度 前期)

健康生活学部 子ども学科 篠永 洋 保育内容総論 I



質問項目	平均	上位G	下位G
質問 7	4.9	4.9	#DIV/0!
質問 8	4.9	4.9	#DIV/0!
質問 9	5.0	5.0	#DIV/0!
質問10	4.9	4.9	#DIV/0!
質問11	4.9	4.9	#DIV/0!
質問12	4.7	4.7	#DIV/0!
質問13	4.8	4.8	#DIV/0!
質問14	4.8	4.8	#DIV/0!
質問15	4.9	4.9	#DIV/0!
質問16	4.9	4.9	#DIV/0!
質問17	4.9	4.9	#DIV/0!
平均	4.9	4.9	#DIV/0!

- 質問 7 : 授業の目標説明とシラバスに沿った実施
- 質問 8 : 教員の授業時間遵守
- 質問 9 : 教員の話し方
- 質問10 : 教材・機器・板書等の効果的な使用
- 質問11 : 教員の説明のわかり易さ
- 質問12 : 教員の授業環境に対する配慮 (私語の注意等)
- 質問13 : 質問機会の確保と質問への適切な対応
- 質問14 : 学生の理解度の確認と授業への反映
- 質問15 : (自分は) 授業を理解できたと思うか
- 質問16 : 授業は興味・関心・意欲を引き出したか
- 質問17 : 新しい知識・技術・理論等の習得への有用性



質問項目	平均
質問18	4.9
質問19	4.7
質問20	4.9
質問21	4.6
質問22	4.9
質問23	4.8
平均	4.8

- 質問18 : (自分は) 授業に真面目に取り組んだと思うか
- 質問19 : 授業内容や到達目標を理解して受講したか
- 質問20 : 欠席回数 (0回→5ポイント、1回→4、2回→3…)
- 質問21 : 授業の予習・復習をおこなったか
- 質問22 : レポート・課題等に積極的に取り組んだか
- 質問23 : 私語・携帯電話等の自粛、教員及び他者の発言傾聴

学 部 名	学 科 名	担当者名	科 目 名	履修者数
健康生活学部	子ども学科	篠永 洋	保育内容総論 I	40

2017 年度前期授業評価アンケート集計結果： 教員による分析・評価と 2018 年度に向けての取り組み

I. 分析と評価

授業評価については、おおむね良い数字が並んでいるが質問 **12** の数字がやや低くなっている。グループワークを行うときに、話の内容がずれてきているところを机間巡視しながら修正したり、何かを作っているときに声が大きくなってきている学生の対応など、さらに細かく目を配る必要がある。

唯一満点が付いたのが質問 **9** であるが、意識してゆっくりと丁寧に話すことを心がけた結果が出ている。ただ、質問 **11** の数字から、その内容が反映されていなかったと捉えられるので、内容をさらに吟味して今後に繋げてゆきたい。

受講態度については、質問 **21** の数字が低くなっている。この授業における予習・復習について、授業のオリエンテーションで説明した後、授業時間以外での提出プリントを渡す際にもこれが復習になると説明を加えていたが、伝わっていないということだろう。さらなる修正を加えてゆきたい。

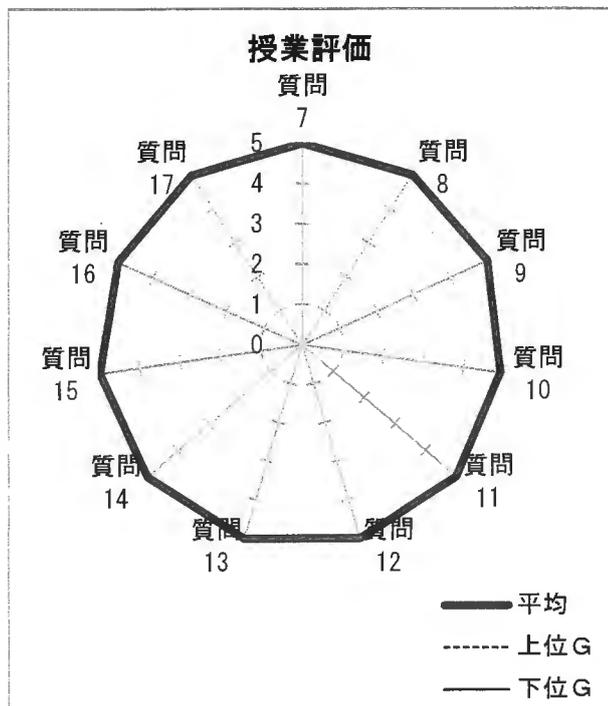
II. 2018 年度に向けての取り組み

2018 年度担当予定科目名：保育内容総論 I

1 年生対象の、保育の学びの入り口となる授業であるため、毎回の授業が楽しくなくてはならないと自分に言い聞かせて授業を行っている。**15** 回の授業の終盤にさしかかる頃には、楽しさと共に、保育の奥深さと、答えの無い面白さ、学び続ける態度など、これからの学び方についてのベースが出来上がっていることが理想である。授業の内容については大幅に変えることは無いが、年々変化していく学生へしっかりと対応出来るように細かい変更を行ってゆく。

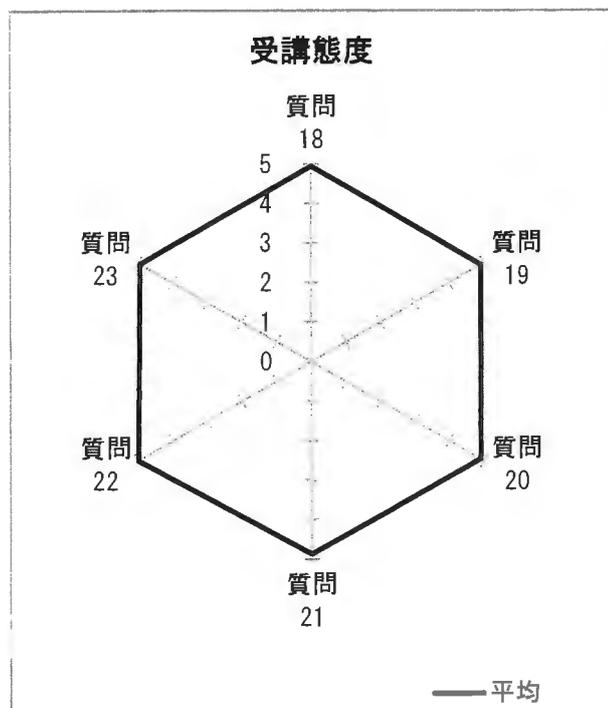
科目コード 803 (2017年度 前期)

健康生活学部 子ども学科 篠永 洋 幼稚園教育実習指導



質問項目	平均	上位G	下位G
質問 7	5.0	5.0	#DIV/0!
質問 8	5.0	5.0	#DIV/0!
質問 9	5.0	5.0	#DIV/0!
質問10	4.9	4.9	#DIV/0!
質問11	5.0	5.0	#DIV/0!
質問12	5.0	5.0	#DIV/0!
質問13	5.0	5.0	#DIV/0!
質問14	5.0	5.0	#DIV/0!
質問15	5.0	5.0	#DIV/0!
質問16	5.0	5.0	#DIV/0!
質問17	5.0	5.0	#DIV/0!
平均	5.0	5.0	#DIV/0!

- 質問 7 : 授業の目標説明とシラバスに沿った実施
- 質問 8 : 教員の授業時間遵守
- 質問 9 : 教員の話し方
- 質問10 : 教材・機器・板書等の効果的な使用
- 質問11 : 教員の説明のわかり易さ
- 質問12 : 教員の授業環境に対する配慮 (私語の注意等)
- 質問13 : 質問機会の確保と質問への適切な対応
- 質問14 : 学生の理解度の確認と授業への反映
- 質問15 : (自分は) 授業を理解できたと思うか
- 質問16 : 授業は興味・関心・意欲を引き出したか
- 質問17 : 新しい知識・技術・理論等の習得への有用性



質問項目	平均
質問18	5.0
質問19	4.9
質問20	4.9
質問21	4.9
質問22	5.0
質問23	5.0
平均	4.9

- 質問18 : (自分は) 授業に真面目に取り組んだと思うか
- 質問19 : 授業内容や到達目標を理解して受講したか
- 質問20 : 欠席回数 (0回→5ポイント、1回→4、2回→3…)
- 質問21 : 授業の予習・復習をおこなったか
- 質問22 : レポート・課題等に積極的に取り組んだか
- 質問23 : 私語・携帯電話等の自粛、教員及び他者の発言傾聴

学 部 名	学 科 名	担当者名	科 目 名	履修者数
健康生活学部	子ども学科	篠永 洋	幼稚園教育実習指導	24

2017 年度前期授業評価アンケート集計結果 : 教員による分析・評価と 2018 年度に向けての取り組み

I. 分析と評価

授業評価について、質問 **10** だけが他の項目と比べると低くなっている。これは、**15** 回の授業の中で、**7** 回が学外での実践であったため、教室の中での授業時間が少なかったことも影響していると考えられる。また、板書等を行わずにほぼ全て配布プリントで授業を行ったため、このような数字となったとも考えられる。

受講態度については、他の項目と比べると質問 **19**、**20**、**21**、がやや低くなっている。授業内容や到達目標については授業の最初に触れた後は、何度も授業の中で伝えることをしなかった。そのような状況でこの数字が出ているのは、実践を中心に据えた授業構成だったため、授業の到達目標と共に各個人の到達目標の設定を毎回行っていたことも影響していると思われる。予習・復習については、やや数字が下がる傾向にあったが、実践の準備（予習）や、振り返りプリントの提出（復習）について徹底させることでいつもより高い数字となっている。他の項目と比べるとやや低いかもしれないが、十分に高い数字といえるだろう。

II. 2018 年度に向けての取り組み

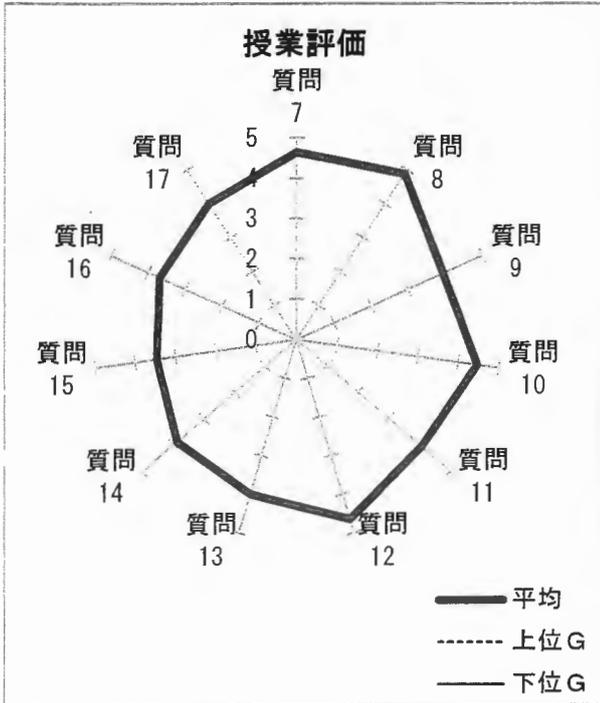
2018 年度担当予定科目名： 幼稚園教育実習指導

今年で **8** 年目となる科目だが、通年の授業のため後期でアンケートを取ることはあったが、前期で取るのは初めての試みであった。学外の幼稚園での実践を中心に据えた授業内容ということで、授業を行っている中での学生の反応は悪くない印象であったが、アンケートの結果もおおむね良好でホッとしている。

この実践中心の取り組みを大幅に変えることなく、効果的な振り返りをしてゆくことで、学生の実践力と実習に対しての自信を付けてもらえるようにしてゆきたい。

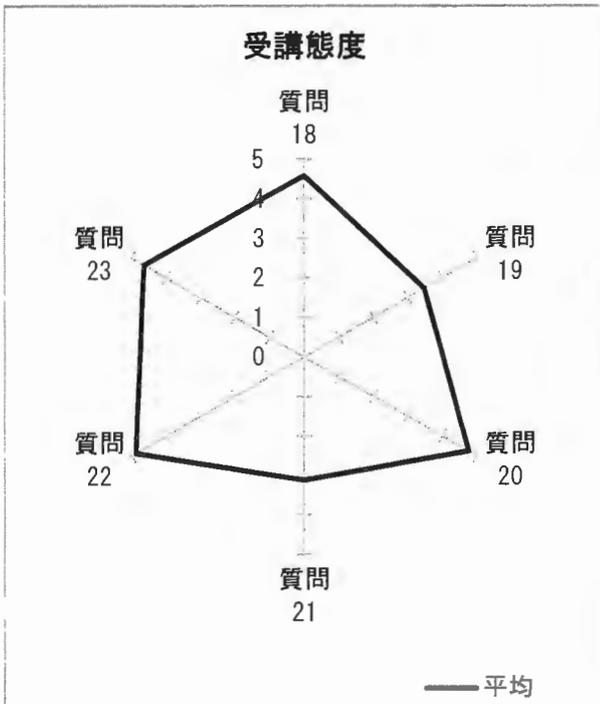
科目コード 804 (2017年度 前期)

健康生活学部 子ども学科 大野 志保 学校保健



質問項目	平均	上位G	下位G
質問 7	4.6	4.6	#DIV/0!
質問 8	4.9	4.9	#DIV/0!
質問 9	3.9	3.9	#DIV/0!
質問10	4.5	4.5	#DIV/0!
質問11	4.1	4.1	#DIV/0!
質問12	4.6	4.6	#DIV/0!
質問13	4.0	4.0	#DIV/0!
質問14	3.9	3.9	#DIV/0!
質問15	3.5	3.5	#DIV/0!
質問16	3.7	3.7	#DIV/0!
質問17	4.0	4.0	#DIV/0!
平均	4.2	4.2	#DIV/0!

- 質問 7 : 授業の目標説明とシラバスに沿った実施
- 質問 8 : 教員の授業時間遵守
- 質問 9 : 教員の話し方
- 質問10 : 教材・機器・板書等の効果的な使用
- 質問11 : 教員の説明のわかり易さ
- 質問12 : 教員の授業環境に対する配慮 (私語の注意等)
- 質問13 : 質問機会の確保と質問への適切な対応
- 質問14 : 学生の理解度の確認と授業への反映
- 質問15 : (自分は) 授業を理解できたと思うか
- 質問16 : 授業は興味・関心・意欲を引き出したか
- 質問17 : 新しい知識・技術・理論等の習得への有用性



質問項目	平均
質問18	4.6
質問19	3.5
質問20	4.8
質問21	3.1
質問22	4.9
質問23	4.6
平均	4.2

- 質問18 : (自分は) 授業に真面目に取り組んだと思うか
- 質問19 : 授業内容や到達目標を理解して受講したか
- 質問20 : 欠席回数 (0回→5ポイント、1回→4、2回→3…)
- 質問21 : 授業の予習・復習をおこなったか
- 質問22 : レポート・課題等に積極的に取り組んだか
- 質問23 : 私語・携帯電話等の自粛、教員及び他者の発言傾聴

学 部 名	学 科 名	担当者名	科 目 名	履修者数
健康生活学部	子ども学科	大野志保	学校保健	18

2017年度前期授業評価アンケート集計結果： 教員による分析・評価と2018年度に向けての取り組み

I. 分析と評価

アンケート実施日に1名欠席があり、17名での調査結果である。加えて、2年次以降は、「保育コース」と「養護教諭コース」の2つのコースに分かれるが、1年生前期ということもあり、受講者全員が「養護教諭コース」を希望しての受講ではなく、コース選択に迷う学生も受講していた現状がある。

授業評価については、質問9「教員の話し方」、質問14「学生の理解度の確認と授業への反映」、質問15「(自分は) 授業を理解できたか」、質問16「授業は興味・関心・意欲を引き出したか」の平均点が低い結果であった。しかし、いずれの項目も「そう思う」「どちらかといえばそう思う」が過半数を超えていたため、受講人数が少ないことを考慮すれば、それほど低い評価ではなかったといえるのではないかと。

授業態度については、質問19「授業内容や到達目標を理解して受講したか」、質問21「授業の予習・復習をおこなったか」の平均点が低い結果であった。毎回の授業内容については、シラバスを提示しているため、到達目標が理解できていないことが評価を下げた要因であると考えられる。また、授業の予習・復習については、予習はシラバスに提示している範囲のテキストを事前に読んでおくこと、復習は授業内容に沿って行うことを提示していたが評価が低かった。その要因は、1年生の前期であり学生自身が大学での授業でも予習・復習の必要であることを理解していないことが考えられる。

II. 2018年度に向けての取り組み

2018年度担当予定科目名： 学校保健

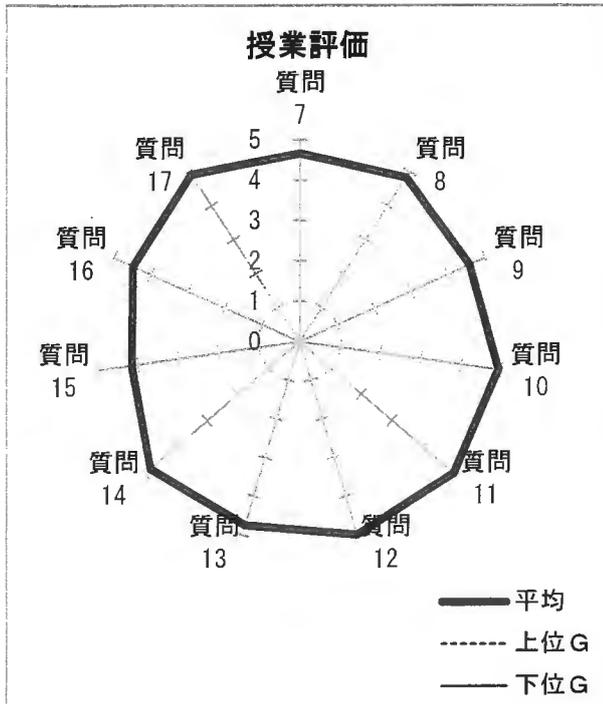
(同じ、あるいは同様の科目を担当しない場合でも、新たな取り組みの可能性についてコメントする。)

本科目は、養護教諭免許取得に関わる専門科目であるため、聞き慣れない専門用語もあり、入学後間もない1年生にとっては難しく感じる内容も多くあったのではないかと感じている。1年次前期開講科目であるため、次年度以降、専門用語等について分かりやすく説明するなど工夫したい。

上記評価項目の「学生の理解度の確認と授業への反映」については、授業終了後に「今回の授業で分かったこと」「わからなかったこと」についてアンケートを取り、「わからなかったこと」と多くの学生が答えていた項目については、次回の授業で解説を加えていたため、改善策について皆目分からない。

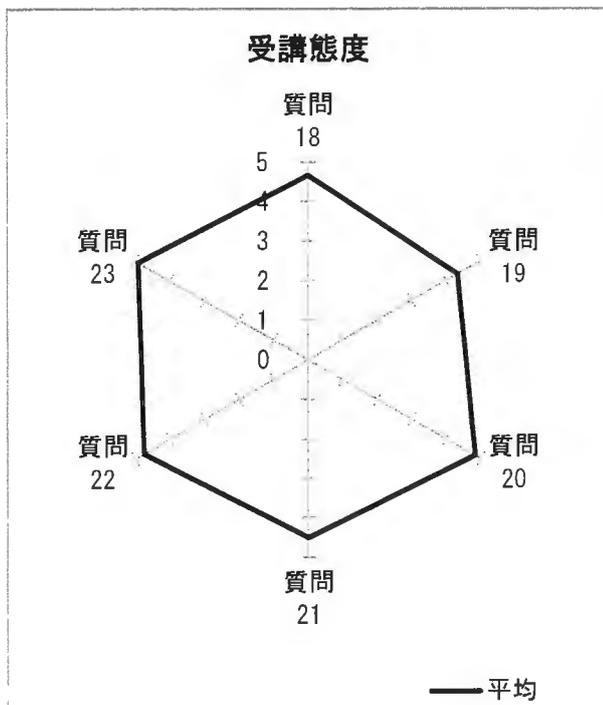
科目コード 805 (2017年度 前期)

健康生活学部 子ども学科 大野 志保 看護学Ⅱ



質問項目	平均	上位G	下位G
質問 7	4.7	4.7	#DIV/0!
質問 8	4.8	4.8	#DIV/0!
質問 9	4.6	4.6	#DIV/0!
質問10	4.9	4.9	#DIV/0!
質問11	5.0	5.0	#DIV/0!
質問12	5.0	5.0	#DIV/0!
質問13	4.8	4.8	#DIV/0!
質問14	4.8	4.8	#DIV/0!
質問15	4.2	4.2	#DIV/0!
質問16	4.5	4.5	#DIV/0!
質問17	4.9	4.9	#DIV/0!
平均	4.7	4.7	#DIV/0!

- 質問 7 : 授業の目標説明とシラバスに沿った実施
- 質問 8 : 教員の授業時間遵守
- 質問 9 : 教員の話し方
- 質問10 : 教材・機器・板書等の効果的な使用
- 質問11 : 教員の説明のわかり易さ
- 質問12 : 教員の授業環境に対する配慮 (私語の注意等)
- 質問13 : 質問機会の確保と質問への適切な対応
- 質問14 : 学生の理解度の確認と授業への反映
- 質問15 : (自分は) 授業を理解できたと思うか
- 質問16 : 授業は興味・関心・意欲を引き出したか
- 質問17 : 新しい知識・技術・理論等の習得への有用性



質問項目	平均
質問18	4.7
質問19	4.3
質問20	4.8
質問21	4.5
質問22	4.8
質問23	4.9
平均	4.7

- 質問18 : (自分は) 授業に真面目に取り組んだと思うか
- 質問19 : 授業内容や到達目標を理解して受講したか
- 質問20 : 欠席回数 (0回→5ポイント、1回→4、2回→3…)
- 質問21 : 授業の予習・復習をおこなったか
- 質問22 : レポート・課題等に積極的に取り組んだか
- 質問23 : 私語・携帯電話等の自粛、教員及び他者の発言傾聴

学 部 名	学 科 名	担当者名	科 目 名	履修者数
健康生活学部	子ども学科	大野志保	看護学Ⅱ	12

2017年度前期授業評価アンケート集計結果：教員による分析・評価と2018年度に向けての取り組み

I. 分析と評価

3年次開講の養護教諭免許取得に関わる専門科目であり、将来、養護教諭を目指す学生を対象にしていることから授業へ臨む態度や意識も高いと感じられた。

授業評価については、質問15「(自分は) 授業を理解できたと思うか」の平均点が低い結果であったが、11名が「そう思う」または「どちらかといえばそう思う」に回答しており、おおむね授業内容を理解できていない学生はいないと考えられる。1名のみが「そう思わない」と回答していたため、受講人数が少ないこともあり、平均値が下がったのではないかと考えられる。

受講態度については、質問19「授業内容や到達目標を理解して受講したか」の平均点が低い結果であった。8割以上の学生が、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答していることから、おおむね授業内容や到達目標を理解して受講していたと考えられる。

II. 2018年度に向けての取り組み

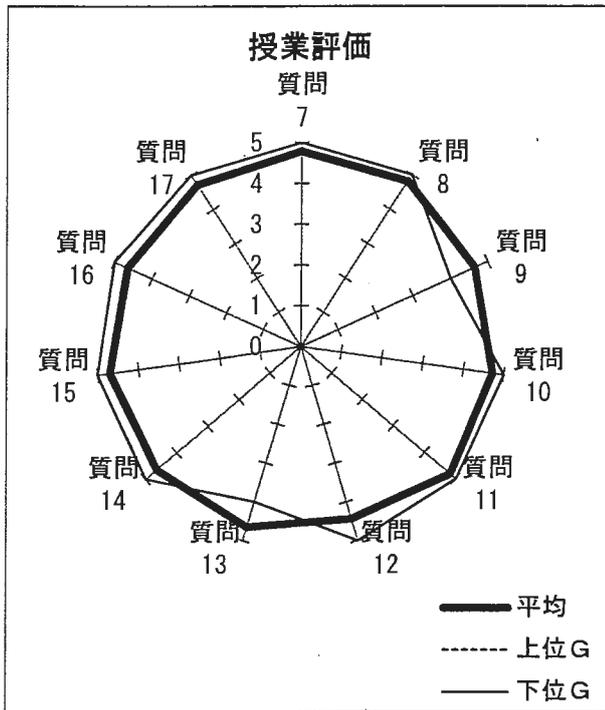
2018年度担当予定科目名：看護学Ⅱ

(同じ、あるいは同様の科目を担当しない場合でも、新たな取り組みの可能性についてコメントする。)

養護教諭免許取得に関わる専門科目であるため、将来、養護教諭として学校の保健室を中心として養護活動を展開するために必要な知識と技能を習得させるために、具体的な保健室場면을想定した事例研究も加えながら授業展開をしていきたいと考えている。

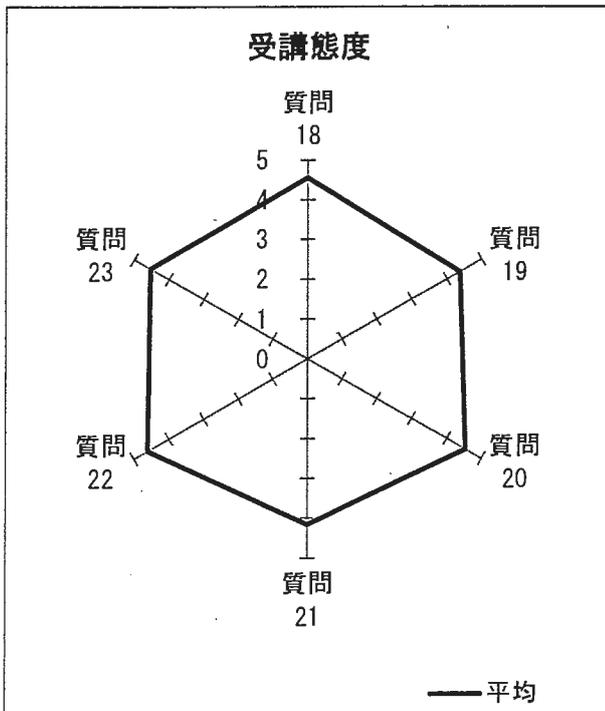
科目コード 806 (2017年度 前期)

健康生活学部 子ども学科 高山 映子 子どもの保健Ⅲ



質問項目	平均	上位G	下位G
質問 7	4.8	4.8	5.0
質問 8	4.8	4.8	5.0
質問 9	4.7	4.7	4.0
質問10	4.7	4.7	5.0
質問11	4.8	4.8	5.0
質問12	4.4	4.4	5.0
質問13	4.7	4.7	4.0
質問14	4.7	4.6	5.0
質問15	4.7	4.7	5.0
質問16	4.7	4.6	5.0
質問17	4.7	4.7	5.0
平均	4.7	4.7	4.8

質問 7 : 授業の目標説明とシラバスに沿った実施
 質問 8 : 教員の授業時間遵守
 質問 9 : 教員の話し方
 質問10 : 教材・機器・板書等の効果的な使用
 質問11 : 教員の説明のわかり易さ
 質問12 : 教員の授業環境に対する配慮 (私語の注意等)
 質問13 : 質問機会の確保と質問への適切な対応
 質問14 : 学生の理解度の確認と授業への反映
 質問15 : (自分は) 授業を理解できたと思うか
 質問16 : 授業は興味・関心・意欲を引き出したか
 質問17 : 新しい知識・技術・理論等の習得への有用性



質問項目	平均
質問18	4.6
質問19	4.4
質問20	4.5
質問21	4.2
質問22	4.6
質問23	4.5
平均	4.5

質問18 : (自分は) 授業に真面目に取り組んだと思うか
 質問19 : 授業内容や到達目標を理解して受講したか
 質問20 : 欠席回数 (0回→5ポイント、1回→4、2回→3...)
 質問21 : 授業の予習・復習をおこなったか
 質問22 : レポート・課題等に積極的に取り組んだか
 質問23 : 私語・携帯電話等の自粛、教員及び他者の発言傾聴

学 部 名	学 科 名	担 当 者 名	科 目 名	履 修 者 数
健康生活学部	子ども学科	嵩山 映子	子どもの保健Ⅲ	46

2017年度前期授業評価アンケート集計結果：教員による分析・評価と2018年度に向けての取り組み

I. 分析と評価

質問9 「教員の話し方」が平均評価4.7だが、下位Gに4.0がある。

声は大きい方だと思いマイクを使用しなかったが、人数が多かったので、聞きにくかった学生がいたのだと思う。できるだけ学生の方を向き、資料と照らし合わせながら、伝えたいことが伝わるようにしていきたい。

質問12 「教員の授業環境に対する配慮」（私語の注意等）が平均評価4.4であった。

授業内容が、講義形式に加え、演習が多かったこともあり、演習の際に模範演技を示した後に各グループ毎（1グループは7～8名ずつ）で行ってもらいできるだけグループを巡回したが、いつも全体を見渡せたかというところとは限らないと思う。演習指導は二人体制で指導できればよりよいのではないかとと思うが、一人では限界かもしれない。また、一人での授業の受け持ちは初めてということもあり、講義の際に私語を止めさせる余裕が自分になく、甘かったかもしれない。

質問14 「学生の理解度の確認と授業への反映」では平均評価は4.7だが、上位G4.6であった。

学生に授業内容の理解についてレポート提出してもらい、感想意見を書いてもらっていたが、その後の授業のなかで上手く活用されなかったのではないかとと思う。次年度には、工夫して活用をもっと考えていきたい。

質問16 「授業は興味・関心・意欲を引き出したか」の平均評価4.7で、上位G4.6であった。

乳幼児の世話については、関心が高かったと思われる。しかし、感染防止について、応急手当などは医療用語が多く難しかったかもしれない。できるだけわかりやすくとは思っていても、知ってほしい内容も多く、質と量のバランスが今後の課題と言える。

質問7 「授業の目標説明とシラバスに沿った実施」、質問8 「教員の授業時間遵守」、質問11 「教員の説明の分かりやすさ」の評価はいずれも4.8（4.8～5.0）と高かった。授業の目標設定に沿った授業内容で、時間は始まりを守り終了時間がオーバーしないような時間配分に心がけたのがよかったと思う。説明についても分かりやすかったとの評価であり、授業をよく聞いてくれていたのでうれしく思う。

質問21 「授業の予習・復習をおこなったか」の受講態度は4.2と低く、質問18～23の平均が4.5と低かった。これは、学生の授業態度への向き合い方を上手く誘導できていない結果だと思う。

II. 2018年度に向けての取り組み

2018年度担当予定科目名：子どもの保健Ⅰ、Ⅱ

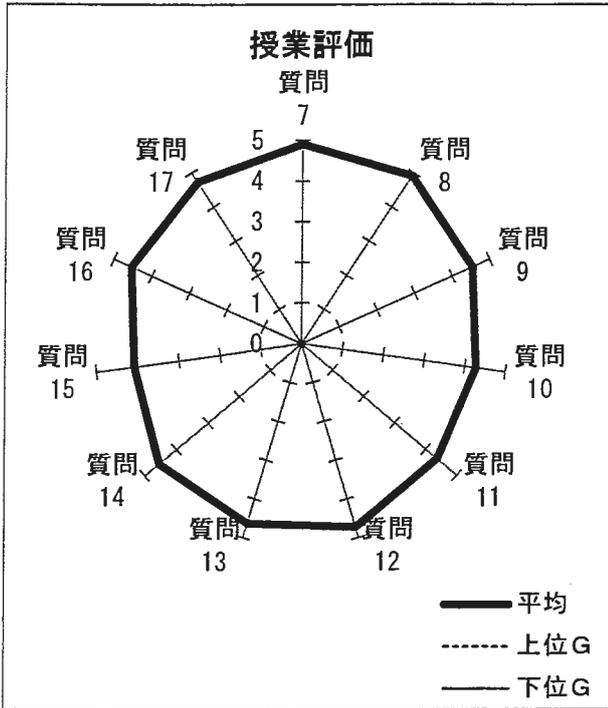
（同じ、あるいは同様の科目を担当しない場合でも、新たな取り組みの可能性についてコメントする。）

次年度は、子どもの保健ⅠやⅡになると思う。受講する学生数は40名位のため、大人数の学生に対して、聞き取りにくくないように配慮したい。また、シラバスに沿い、毎回の授業のレジュメを作成して授業の内容がわかりやすいようにしていくことを忘れないようにしたいさらに、学生の私語や環境を整え、授業の進行がよりスムーズになるようにしていきたい。

そして、授業の関心がより深まるように予習・復習・意見への反映についての工夫と難しい医学用語などをもっと噛み砕いて説明し、学生が授業内容を吸収しやすいようにしていきたい。

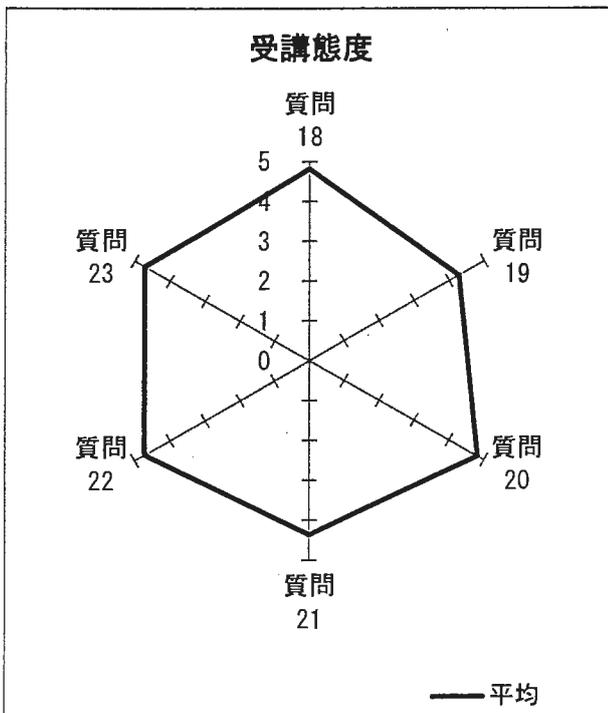
科目コード 807 (2017年度 前期)

健康生活学部 子ども学科 嵩山 映子 看護臨床実習



質問項目	平均	上位G	下位G
質問 7	4.9	4.9	#DIV/0!
質問 8	4.9	4.9	#DIV/0!
質問 9	4.5	4.5	#DIV/0!
質問10	4.3	4.3	#DIV/0!
質問11	4.4	4.4	#DIV/0!
質問12	4.7	4.7	#DIV/0!
質問13	4.6	4.6	#DIV/0!
質問14	4.5	4.5	#DIV/0!
質問15	4.1	4.1	#DIV/0!
質問16	4.5	4.5	#DIV/0!
質問17	4.7	4.7	#DIV/0!
平均	4.6	4.6	#DIV/0!

- 質問 7 : 授業の目標説明とシラバスに沿った実施
- 質問 8 : 教員の授業時間遵守
- 質問 9 : 教員の話し方
- 質問10 : 教材・機器・板書等の効果的な使用
- 質問11 : 教員の説明のわかり易さ
- 質問12 : 教員の授業環境に対する配慮 (私語の注意等)
- 質問13 : 質問機会の確保と質問への適切な対応
- 質問14 : 学生の理解度の確認と授業への反映
- 質問15 : (自分は) 授業を理解できたと思うか
- 質問16 : 授業は興味・関心・意欲を引き出したか
- 質問17 : 新しい知識・技術・理論等の習得への有用性



質問項目	平均
質問18	4.8
質問19	4.3
質問20	4.8
質問21	4.4
質問22	4.7
質問23	4.7
平均	4.6

- 質問18 : (自分は) 授業に真面目に取り組んだと思うか
- 質問19 : 授業内容や到達目標を理解して受講したか
- 質問20 : 欠席回数 (0回→5ポイント、1回→4、2回→3…)
- 質問21 : 授業の予習・復習をおこなったか
- 質問22 : レポート・課題等に積極的に取り組んだか
- 質問23 : 私語・携帯電話等の自粛、教員及び他者の発言傾聴

学 部 名	学 科 名	担当者名	科 目 名	履修者数
健康生活学部	子ども学科	嵩山 映子	看護臨床実習	13

2017年度前期授業評価アンケート集計結果： 教員による分析・評価と2018年度に向けての取り組み

I. 分析と評価

質問10 「教材、機器、板書等の効果的な使用」は評価4.3であった。

質問11 「教員の説明のわかり易さ」の評価が4.4であった。

質問15 「(自分は) 授業を理解できたと思うか」が評価4.1であった。

質問19 「授業内容や到達目標を理解して受講したか」は、評価4.3であった。

質問10では、私自身が講義1年目で配布資料やホワイトボードの使い方が不慣れで効果的な使用ができていなかった。また質問11においても、内容が多いため授業の進行が遅れないように私自身が判断しその結果、学生がついてきているかの確認不足になったためだと思われる。

質問15、質問19で評価が低かったのは、看護過程や事例に沿ったまとめ方をしていったが、医学用語や看護用語など学生にとって初めての内容であったため、一つ一つを押さえながら、また重要なところは繰り返したつもりだったが、それでも学生にとっては難しかったようである。難しくても理解してもらうために今後はもっとどうすればわかりやすいかを追求し講義にあたりたいと思う。

質問7 「授業の目標説明とシラバスに沿った実施」、質問8 「教員の授業時間遵守」の2項目は、いずれも評価4.9と高かった。これは、授業の目標が看護臨床実習であると明確であり、そのためのスケジュールをよく理解してくれた結果だと思われる。1回の授業時間は開始と終了時間をできるだけ守りながら、授業時間の配分進行に配慮したためだと思う。

質問18 「(自分は) 授業に真面目に取り組んだと思うか」は評価4.8であった。これはレポートやノート提出でもまじめに取り組んでいることがわかるし、授業中も真剣に聞いてくれているのでとてもうれしい。

質問項目全体の平均評価は、4.6であり、決して高い数値とは言えない。

授業の目標は看護臨床実習を受けるための準備であるために、私自身がここまでは知っていて欲しい。という内容で授業を進めているが、もっと噛み砕いた内容で、学生に浸透できるように工夫しなければならないと思う。

引き続き後期に看護臨床実習の事前準備～看護臨床実習～実習後のまとめがあるので、学生が看護臨床実習に臨めるようにサポートしていくつもりである。

II. 2018年度に向けての取り組み

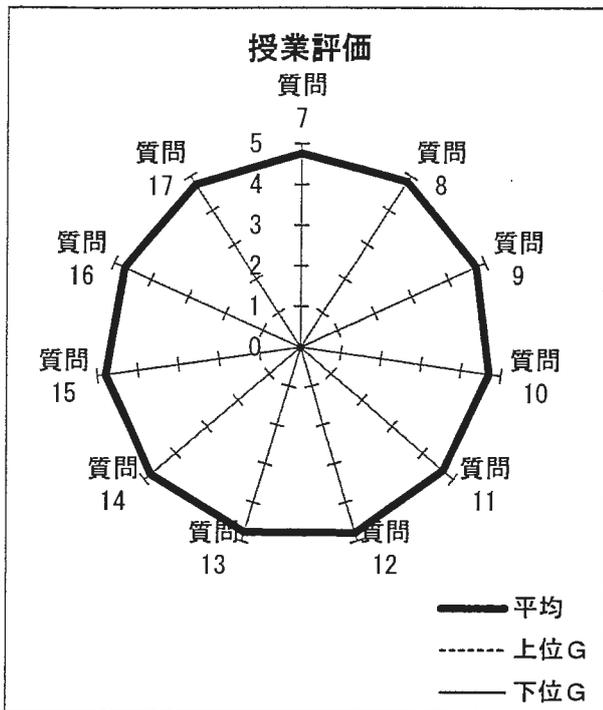
2018年度担当予定科目名：看護臨床実習

(同じ、あるいは同様の科目を担当しない場合でも、新たな取り組みの可能性についてコメントする。)

看護臨床実習が後期になるため、授業の目標が達成してはいないが、前期は事前準備であることから、理論ばかりを進めるのではなく、もっと現場のことに触れながら、臨床の現場がほど遠いものを感じないように身近に感じてもらえる工夫をしながら、学生がより理解を深めやすい授業にしたいと思う。

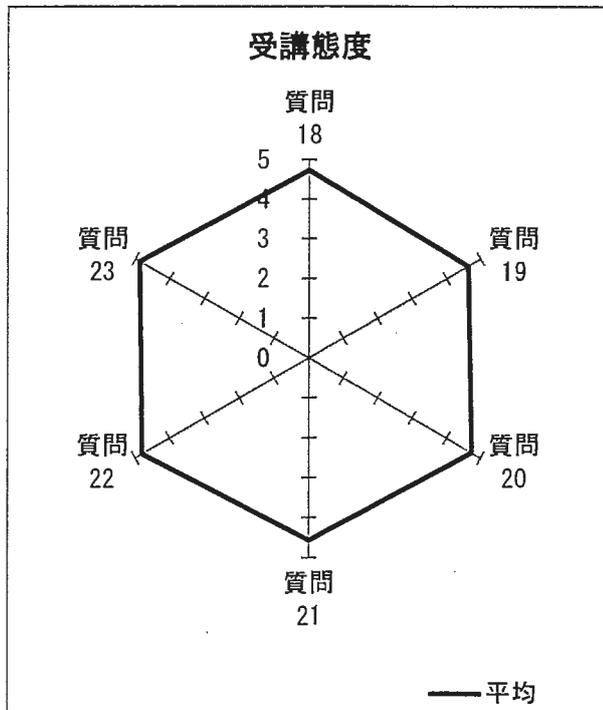
科目コード 808 (2017年度 前期)

健康生活学部 子ども学科 前田 志津子 保育者論



質問項目	平均	上位G	下位G
質問 7	4.8	4.8	#DIV/0!
質問 8	4.8	4.8	#DIV/0!
質問 9	4.8	4.8	#DIV/0!
質問10	4.7	4.7	#DIV/0!
質問11	4.7	4.7	#DIV/0!
質問12	4.8	4.8	#DIV/0!
質問13	4.8	4.8	#DIV/0!
質問14	4.8	4.8	#DIV/0!
質問15	4.8	4.8	#DIV/0!
質問16	4.7	4.7	#DIV/0!
質問17	4.8	4.8	#DIV/0!
平均	4.8	4.8	#DIV/0!

- 質問 7 : 授業の目標説明とシラバスに沿った実施
- 質問 8 : 教員の授業時間遵守
- 質問 9 : 教員の話し方
- 質問10 : 教材・機器・板書等の効果的な使用
- 質問11 : 教員の説明のわかり易さ
- 質問12 : 教員の授業環境に対する配慮 (私語の注意等)
- 質問13 : 質問機会の確保と質問への適切な対応
- 質問14 : 学生の理解度の確認と授業への反映
- 質問15 : (自分は) 授業を理解できたと思うか
- 質問16 : 授業は興味・関心・意欲を引き出したか
- 質問17 : 新しい知識・技術・理論等の習得への有用性



質問項目	平均
質問18	4.7
質問19	4.6
質問20	4.7
質問21	4.6
質問22	4.8
質問23	4.9
平均	4.7

- 質問18 : (自分は) 授業に真面目に取り組んだと思うか
- 質問19 : 授業内容や到達目標を理解して受講したか
- 質問20 : 欠席回数 (0回→5ポイント、1回→4、2回→3…)
- 質問21 : 授業の予習・復習をおこなったか
- 質問22 : レポート・課題等に積極的に取り組んだか
- 質問23 : 私語・携帯電話等の自粛、教員及び他者の発言傾聴

学 部 名	学 科 名	担当者名	科 目 名	履修者数
健康生活学部	子ども学科	前田志津子	保育者論	31名

2017 年度前期授業評価アンケート集計結果 : 教員による分析・評価と 2017 年後期に向けての取り組み

I. 分析と評価

「保育者論」の科目授業評価を試みた、受講生は 31 名。

本科目において重視して取り組んだことは、特に子どもを取り巻く現状を踏まえ教育的課題をもつこと、これまでの教育の歴史に学ぶことも意識しつつ進めていった。受講生にとっては、教育原理や保育原理、社会福祉系の授業と「保育者論」の科目間のつながりをも改め気づいたにちがいない。

何よりも、子どもの最善の利益を守る、を基本にし、保育者として、今一度子どもの権利について立ち返る機会でもあったと考える。

II. 2017 年後期に向けての取り組み

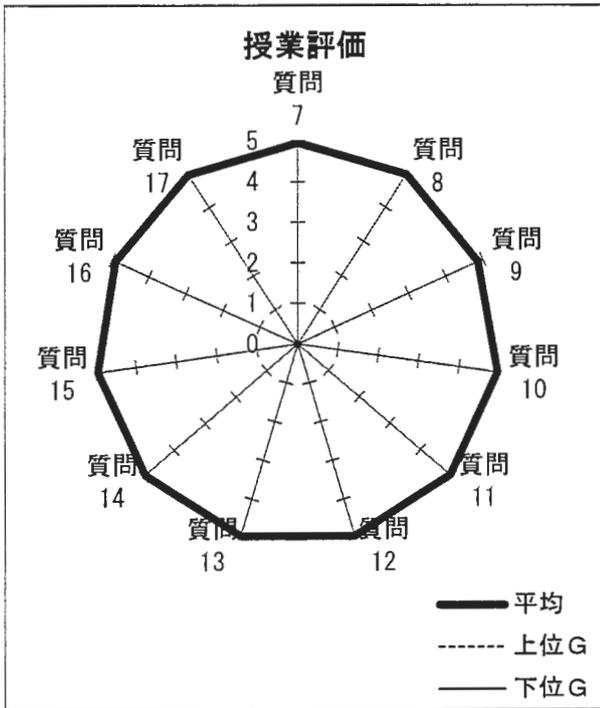
2017 年度後期担当予定科目名 :

(同じ、あるいは同様の科目を担当しない場合でも、新たな取り組みの可能性についてコメントする。)

後期に向けては、保育者論での学びを後期の担当者の授業科目「保育・教職実践演習」や「保育学」の科目での学びに活かしてつないでいきたいと考える。

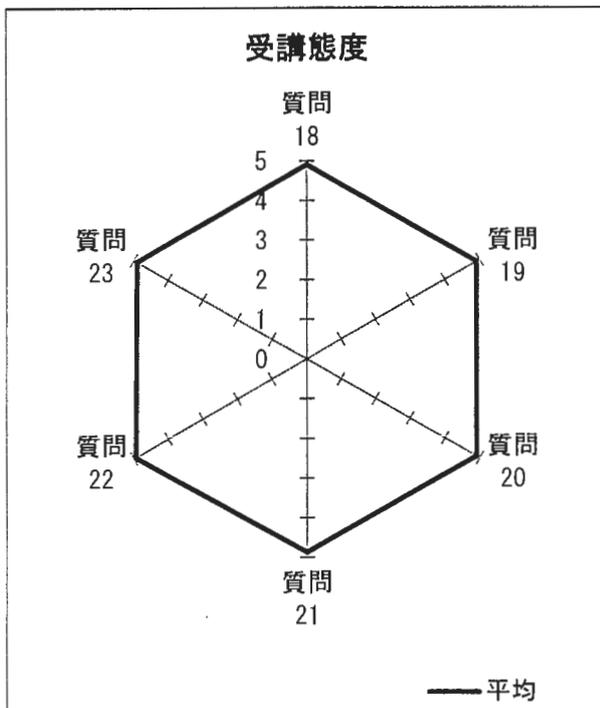
科目コード 809 (2017年度 前期)

健康生活学部 子ども学科 前田 志津子 幼稚園教育実習指導



質問項目	平均	上位G	下位G
質問 7	5.0	5.0	#DIV/0!
質問 8	5.0	5.0	#DIV/0!
質問 9	4.9	4.9	#DIV/0!
質問10	5.0	5.0	#DIV/0!
質問11	5.0	5.0	#DIV/0!
質問12	5.0	5.0	#DIV/0!
質問13	5.0	5.0	#DIV/0!
質問14	5.0	5.0	#DIV/0!
質問15	5.0	5.0	#DIV/0!
質問16	4.9	4.9	#DIV/0!
質問17	5.0	5.0	#DIV/0!
平均	4.9	4.9	#DIV/0!

- 質問 7 : 授業の目標説明とシラバスに沿った実施
- 質問 8 : 教員の授業時間遵守
- 質問 9 : 教員の話し方
- 質問10 : 教材・機器・板書等の効果的な使用
- 質問11 : 教員の説明のわかり易さ
- 質問12 : 教員の授業環境に対する配慮 (私語の注意等)
- 質問13 : 質問機会の確保と質問への適切な対応
- 質問14 : 学生の理解度の確認と授業への反映
- 質問15 : (自分は) 授業を理解できたと思うか
- 質問16 : 授業は興味・関心・意欲を引き出したか
- 質問17 : 新しい知識・技術・理論等の習得への有用性



質問項目	平均
質問18	4.9
質問19	4.9
質問20	4.9
質問21	4.9
質問22	5.0
質問23	4.9
平均	4.9

- 質問18 : (自分は) 授業に真面目に取り組んだと思うか
- 質問19 : 授業内容や到達目標を理解して受講したか
- 質問20 : 欠席回数 (0回→5ポイント、1回→4、2回→3…)
- 質問21 : 授業の予習・復習をおこなったか
- 質問22 : レポート・課題等に積極的に取り組んだか
- 質問23 : 私語・携帯電話等の自粛、教員及び他者の発言傾聴

学 部 名	学 科 名	担当者名	科 目 名	履修者数
健康生活学部	子ども学科	前田志津子	幼稚園教育実習指導	23名

2017年度前期授業評価アンケート集計結果：教員による分析・評価と2017年後期に向けての取り組み

I. 分析と評価

受講生は23名、因みに昨年度は42名であった。

本科目において重視して取り組んだことは、後期4週間の本実習へのつながりを意識して、まず幼稚園現場との連携を図り取り組んだ。

配属クラスは一貫してかかわることで、子どもの成長、学生自身の成長も伺えるのではないかと判断した。

最初は、入園・進級当初の子どもの実態を知るための見学である、次に1ヶ月後の変化が捉えられるように観察・参加することで子ども理解に努めること。その後は一人ずつ子どもの前に出て計画的保育を実践することである。実践終了後クラス担当者からコメントをいただくことで次に実践する学生にも参考になることが多々あった。1クラス3名の配属であるため、3回実践を積み重ねていくことができたと考える。

授業担当者が行ったことは、現場での学生の状況、子ども達の反応等の記録し、授業で伝えるとともに振り返り確認し、次への実践へ向かうてがかりをつくっていった。その中では、

特に重視したことは、子どもの実態から、指導案作成、実践へとつなげることである。一人ひとりの指導案を基にして具体的に子どもの姿とねがいの関係を確認できるように伝えていくことで学生も理解できるようになったと考える。

また、実習訪問担当する実習生については、個別に面談を行い、目的をもった実習になるように意識づけを再度行った。

II. 2017年後期に向けての取り組み

2017年度後期担当予定科目名：幼稚園教育実習指導

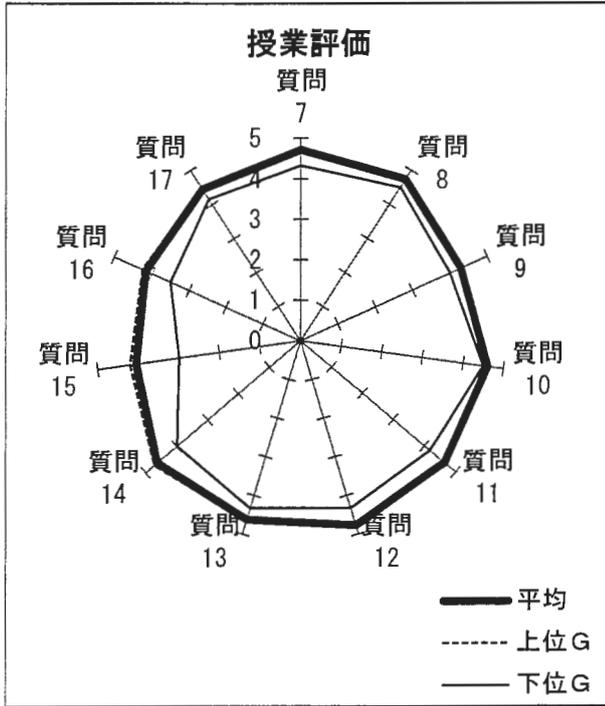
(同じ、あるいは同様の科目を担当しない場合でも、新たな取り組みの可能性についてコメントする。)

後期に向けては、前期のつながりのなかでの本実習であることを振り返りつつ、一人ひとりの実習目標とともに各自が明確な課題を見出すことができるように全体指導と個別指導を充実させていきたい。

さらにまた、子どもにかかわることの面白さ、奥深さを実感してほしい。

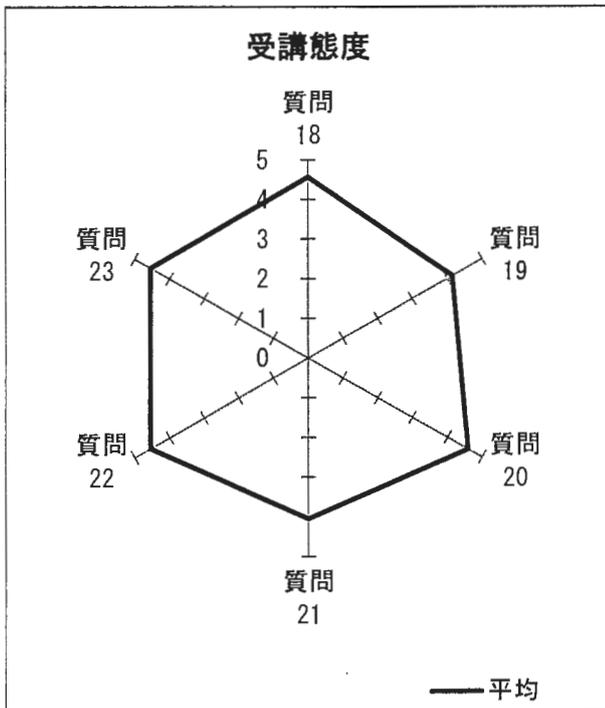
科目コード 810 (2017年度 前期)

健康生活学部 子ども学科 金 珉呈 社会福祉・社会福祉概論



質問項目	平均	上位G	下位G
質問 7	4.7	4.8	4.3
質問 8	4.7	4.8	4.5
質問 9	4.3	4.3	4.0
質問10	4.6	4.6	4.5
質問11	4.6	4.7	4.2
質問12	4.8	4.8	4.3
質問13	4.6	4.7	4.3
質問14	4.6	4.7	4.0
質問15	4.1	4.2	3.0
質問16	4.2	4.3	3.5
質問17	4.4	4.5	4.2
平均	4.5	4.6	4.1

- 質問 7 : 授業の目標説明とシラバスに沿った実施
- 質問 8 : 教員の授業時間遵守
- 質問 9 : 教員の話し方
- 質問10 : 教材・機器・板書等の効果的な使用
- 質問11 : 教員の説明のわかり易さ
- 質問12 : 教員の授業環境に対する配慮 (私語の注意等)
- 質問13 : 質問機会の確保と質問への適切な対応
- 質問14 : 学生の理解度の確認と授業への反映
- 質問15 : (自分は) 授業を理解できたと思うか
- 質問16 : 授業は興味・関心・意欲を引き出したか
- 質問17 : 新しい知識・技術・理論等の習得への有用性



質問項目	平均
質問18	4.6
質問19	4.1
質問20	4.6
質問21	4.0
質問22	4.6
質問23	4.6
平均	4.4

- 質問18 : (自分は) 授業に真面目に取り組んだと思うか
- 質問19 : 授業内容や到達目標を理解して受講したか
- 質問20 : 欠席回数 (0回→5ポイント、1回→4、2回→3…)
- 質問21 : 授業の予習・復習をおこなったか
- 質問22 : レポート・課題等に積極的に取り組んだか
- 質問23 : 私語・携帯電話等の自粛、教員及び他者の発言傾聴

学 部 名	学 科 名	担当者名	科 目 名	履修者数
健康生活学部	子ども学科・音楽学科	金 珉呈	社会福祉・社会福祉概論	50人

2017年度前期授業評価アンケート集計結果：教員による分析・評価と2018年度に向けての取り組み

I. 分析と評価

今年度の「社会福祉・社会福祉論」の授業アンケートのなかで一番平均点が低い項目は、「質問 15:(自分は)授業を理解できたと思うか」(平均 4.1)と「質問 16:(自分は)授業は興味・関心・意欲を引き出したか」(平均 4.2)であった。こういう結果になった背景には、以下の理由があると考えられる。

「社会福祉・社会福祉論」は、これまで自分の問題としてあまり深く考えてこなかった大学1年生にとっては、社会福祉関連の専門用語に対する違和感、対象範囲の広さおよび複雑さなどにより、受講当初から「むずかしい」と感じる学生が多い。また、音楽学科の音楽療法専攻と同時開講の科目であるため、学生一人ひとりの興味・関心度にかかなりの温度差がある。

しかし、毎回授業の最後に実施しているリアクション・ペーパーや今回の授業評価アンケートの数字からは、授業内容を十分理解するまでは時間が必要な科目ではあるが、保育士資格のための専門科目として一人ひとり学生の興味と関心が高いことが分かる。また、毎回学生に配布するレジュメの内容については、「分かりやすい」「勉強に役に立つ」などの評価を受けた。

II. 2018年度に向けての取り組み

2018年度担当予定科目名:社会福祉・社会福祉論

(同じ、あるいは同様の科目を担当しない場合でも、新たな取り組みの可能性についてコメントする。)

学生が授業に興味を持ち、意欲的に参加できるように引き続き、以下の教育方法の工夫を行う。

①授業の構成やレジュメ作成上の工夫

:90分授業で概ね3つの小テーマを用意し、メリハリのある授業を行う。またレジュメには「本日の授業内容」を明記し、冒頭に確認して学ぶ内容のイメージを提示するとともに、学生が授業後に達成度を評価できるようにしている。

②授業を進め方の工夫

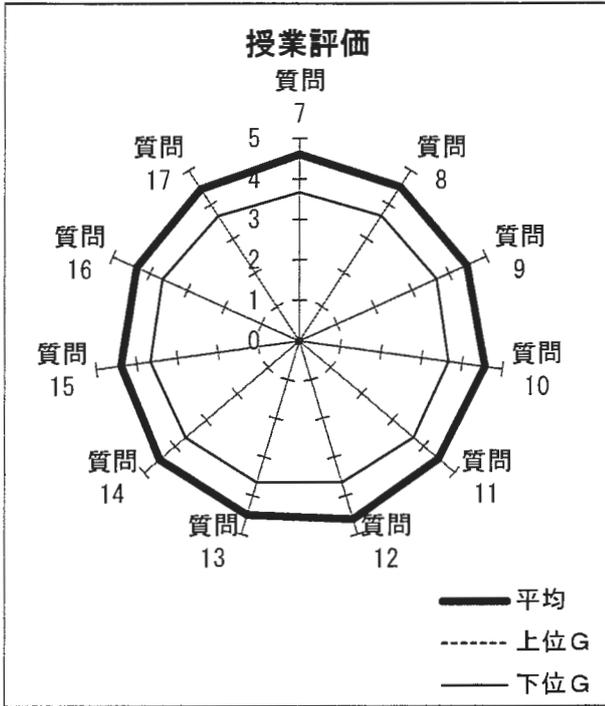
:授業では問いかけを行い、常に学生に考えることを促す。問いかけや視聴覚教材などを観た後は、必ず意見や感想を聞く。決められた時間の中で自分の考えを言語化し、他者に伝えることは実習や就職してから必要なことである。

③双方向的な授業にする工夫

:毎回「リアクション・ペーパー」を提出してもらい、次回にフィードバックすることで、以下の教育効果を実感している。まず、学生がどの程度理解できたのか、また私の説明が不十分な個所を知ることができる。また、授業から他人の考え、価値観の多様性を実感し、自分の考え、価値観を相対化することに役立つ。さらに、「読んでもらい自信がついた」など、学生の学習意欲向上にも有効である。

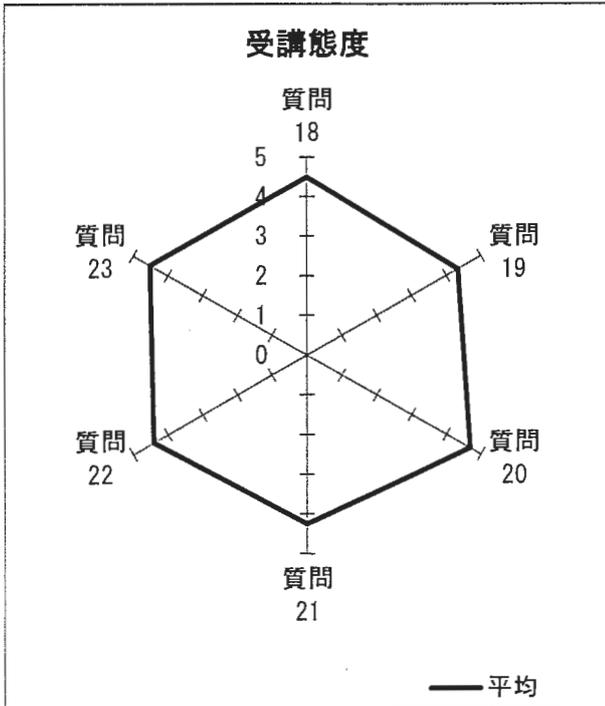
科目コード 811 (2017年度 前期)

健康生活学部 子ども学科 金 珉呈 社会的養護



質問項目	平均	上位G	下位G
質問 7	4.6	4.7	3.7
質問 8	4.5	4.6	3.7
質問 9	4.5	4.5	3.7
質問10	4.6	4.6	3.7
質問11	4.5	4.5	3.7
質問12	4.6	4.7	3.7
質問13	4.5	4.6	3.7
質問14	4.5	4.6	3.7
質問15	4.4	4.4	3.7
質問16	4.4	4.4	3.7
質問17	4.5	4.5	3.7
平均	4.5	4.6	3.7

- 質問 7 : 授業の目標説明とシラバスに沿った実施
- 質問 8 : 教員の授業時間遵守
- 質問 9 : 教員の話し方
- 質問10 : 教材・機器・板書等の効果的な使用
- 質問11 : 教員の説明のわかり易さ
- 質問12 : 教員の授業環境に対する配慮(私語の注意等)
- 質問13 : 質問機会の確保と質問への適切な対応
- 質問14 : 学生の理解度の確認と授業への反映
- 質問15 : (自分は) 授業を理解できたと思うか
- 質問16 : 授業は興味・関心・意欲を引き出したか
- 質問17 : 新しい知識・技術・理論等の習得への有用性



質問項目	平均
質問18	4.5
質問19	4.3
質問20	4.7
質問21	4.3
質問22	4.4
質問23	4.5
平均	4.5

- 質問18 : (自分は) 授業に真面目に取り組んだと思うか
- 質問19 : 授業内容や到達目標を理解して受講したか
- 質問20 : 欠席回数(0回→5ポイント、1回→4、2回→3…)
- 質問21 : 授業の予習・復習をおこなったか
- 質問22 : レポート・課題等に積極的に取り組んだか
- 質問23 : 私語・携帯電話等の自粛、教員及び他者の発言傾聴

学 部 名	学 科 名	担当者名	科 目 名	履修者数
健康生活学部	子ども学科	金 珉呈	社会的養護	44名

2017年度前期授業評価アンケート集計結果：教員による分析・評価と2018年度に向けての取り組み

I. 分析と評価

1年次の「社会福祉」と「児童家庭福祉」の授業内容を踏まえ、社会福祉専門職である保育士を目指して勉強している学生は「社会的養護」の理念、制度、方法（実践）など基本的な内容について理解する必要がある。授業「社会的養護」では、本来、子どもは家庭環境のもとで幸福を実感し、愛情および利かひのある雰囲気の中で成長・発達すべき存在であり、社会は子どもが豊かに生活するための十分な環境を準備しなければならない。しかし、何らかの事情で、その家庭環境を奪われた子ども、あるいはその家庭環境にとどまることが認められない子どもが少なからずいる。

しかし、さまざまな育ちの背景をもち、「社会的養護」で生活する子どもの実態についてよく分かっておらず、自分たちとは違う世界の出来事としてみている学生が多い。そのため、「社会的養護」に対する当事者意識や担い手としての自覚が薄い。

2年生としてこれまであまり自分の問題として考えてこなかった「社会的養護」について多少「むずかしい」と思う学生もいるが、授業を受けているうちに児童虐待や里親などを中心に「社会的養護」に興味・関心をもつようになったというコメントを毎回の授業の最後に書いてもらうリアクションペーパーから多く出ている。

引き続き、学生一人ひとりが意欲をもち、主体的に授業に参加できるような授業の内容について工夫していきたい。

II. 2018年度に向けての取り組み

2017年度担当予定科目名：社会的養護

(同じ、あるいは同様の科目を担当しない場合でも、新たな取り組みの可能性についてコメントする。) 学生が授業に興味を持ち、意欲的に参加できるように引き続き、以下の教育方法の工夫を行う。

①授業の構成やレジュメ作成上の工夫

：90分授業で概ね3つの小テーマを用意し、メリハリのある授業を行う。またレジュメには「本日の授業内容」を明記し、冒頭に確認して学ぶ内容のイメージを提示するとともに、学生が授業後に達成度を評価できるようにしている。

②授業を進め方の工夫

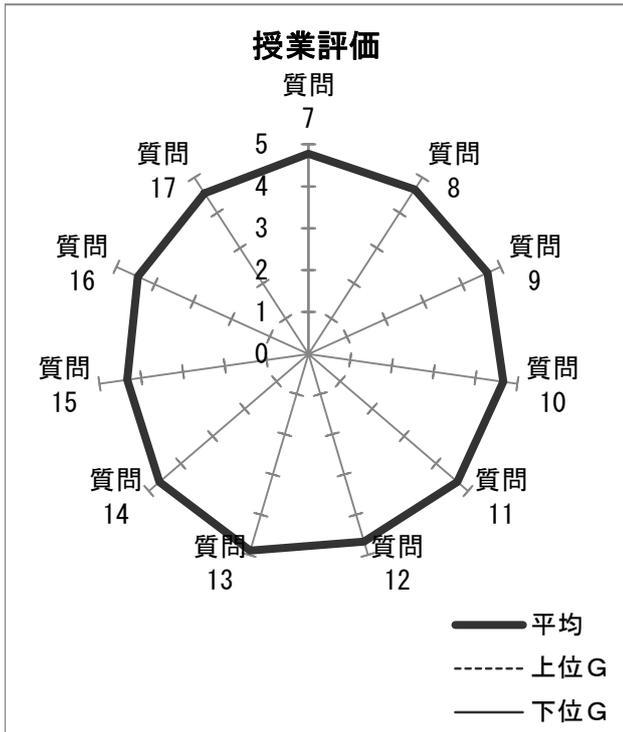
：授業では問いかけを行い、常に学生に考えることを促す。問いかけや視聴覚教材などを観た後は、必ず意見や感想を聞く。決められた時間の中で自分の考えを言語化し、他者に伝えることは実習や就職してからも必要なことである。

③双方向的な授業にする工夫

：毎回「リアクション・ペーパー」を提出してもらい、次回にフィードバックすることで、以下の教育効果を実感している。まず、学生がどの程度理解できたのか、また私の説明が不十分な個所を知ることができる。また、授業から他人の考え、価値観の多様性を実感し、自分の考え、価値観を相対化することに役立つ。さらに、「読んでもらい自信がついた」など、学生の学習意欲向上にも有効である。

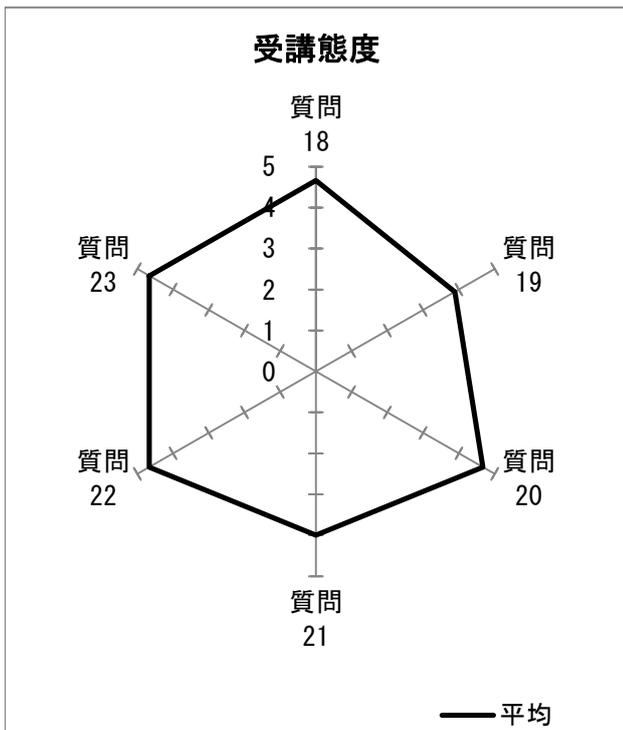
科目コード 812 (2017年度 前期)

健康生活学部 子ども学科 田淵 久美子 教育相談の理論



質問項目	平均	上位G	下位G
質問 7	4.8	4.8	#DIV/0!
質問 8	4.7	4.7	#DIV/0!
質問 9	4.7	4.7	#DIV/0!
質問10	4.7	4.7	#DIV/0!
質問11	4.7	4.7	#DIV/0!
質問12	4.7	4.7	#DIV/0!
質問13	4.9	4.9	#DIV/0!
質問14	4.7	4.7	#DIV/0!
質問15	4.3	4.3	#DIV/0!
質問16	4.4	4.4	#DIV/0!
質問17	4.6	4.6	#DIV/0!
平均	4.6	4.6	#DIV/0!

- 質問 7 : 授業の目標説明とシラバスに沿った実施
- 質問 8 : 教員の授業時間遵守
- 質問 9 : 教員の話し方
- 質問10 : 教材・機器・板書等の効果的な使用
- 質問11 : 教員の説明のわかり易さ
- 質問12 : 教員の授業環境に対する配慮 (私語の注意等)
- 質問13 : 質問機会の確保と質問への適切な対応
- 質問14 : 学生の理解度の確認と授業への反映
- 質問15 : (自分は) 授業を理解できたと思うか
- 質問16 : 授業は興味・関心・意欲を引き出したか
- 質問17 : 新しい知識・技術・理論等の習得への有用性



質問項目	平均
質問18	4.7
質問19	3.9
質問20	4.7
質問21	4.0
質問22	4.7
質問23	4.7
平均	4.4

- 質問18 : (自分は) 授業に真面目に取り組んだと思うか
- 質問19 : 授業内容や到達目標を理解して受講したか
- 質問20 : 欠席回数 (0回→5ポイント、1回→4、2回→3…)
- 質問21 : 授業の予習・復習をおこなったか
- 質問22 : レポート・課題等に積極的に取り組んだか
- 質問23 : 私語・携帯電話等の自粛、教員及び他者の発言傾聴

学 部 名	学 科 名	担当 者 名	科 目 名	履 修 者 数
健康生活学部	子ども学科	田淵久美子	教育相談の理論	9

2017 年度前期授業評価アンケート集計結果 : 教員による分析・評価と 2018 年度に向けての取り組み

I. 分析と評価

全体の評価としては、多少平均より良かったが、授業の理解度について若干ポイントが低かった。理由としては、どの項目についても、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」に大きく回答が分かれています。授業理解については、「どちらかといえばそう思う」の人数が一人多かったということであろう。しかし、何が理解できなかったのかは不明である。

II. 2018 年度に向けての取り組み

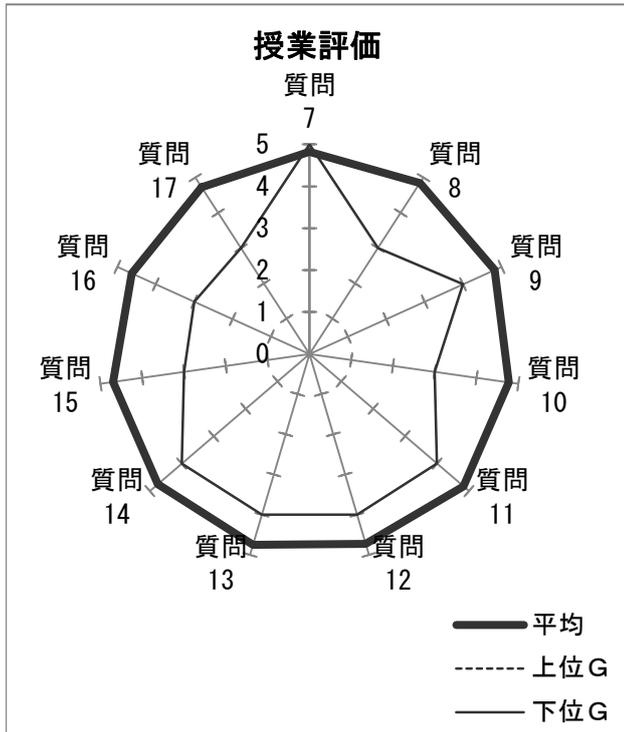
2018 年度担当予定科目名 : 教育相談の理論

(同じ、あるいは同様の科目を担当しない場合でも、新たな取り組みの可能性についてコメントする。)

養護教諭の科目として、4 年生最後の講義でもあるので、授業の理解度などをもう少し引き上げたい。

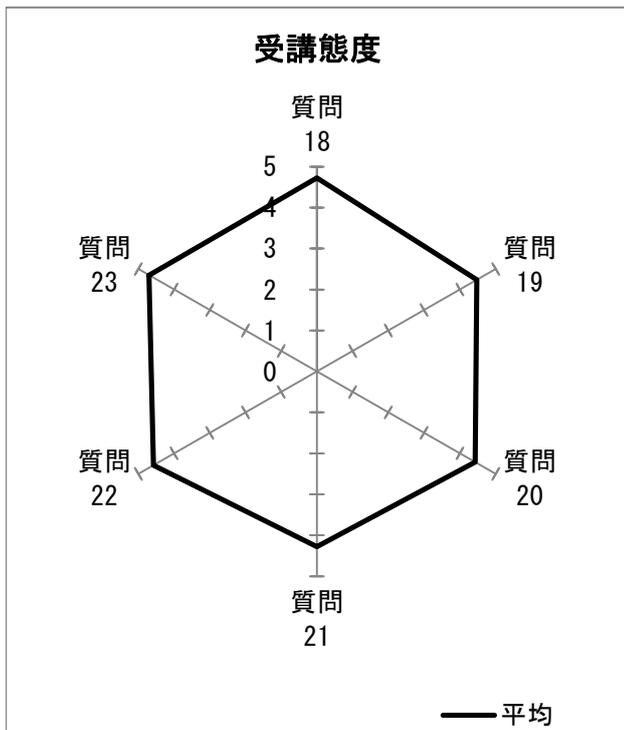
科目コード 814 (2017年度 前期)

健康生活学部 子ども学科 石川 由香里 保育内容(人間関係)



質問項目	平均	上位G	下位G
質問 7	4.8	4.8	5.0
質問 8	4.9	4.9	3.0
質問 9	4.8	4.8	4.0
質問10	4.8	4.8	3.0
質問11	4.8	4.8	4.0
質問12	4.7	4.7	4.0
質問13	4.8	4.8	4.0
質問14	4.8	4.8	4.0
質問15	4.7	4.7	3.0
質問16	4.6	4.7	3.0
質問17	4.7	4.8	3.0
平均	4.8	4.8	3.6

- 質問 7 : 授業の目標説明とシラバスに沿った実施
- 質問 8 : 教員の授業時間遵守
- 質問 9 : 教員の話し方
- 質問10 : 教材・機器・板書等の効果的な使用
- 質問11 : 教員の説明のわかり易さ
- 質問12 : 教員の授業環境に対する配慮 (私語の注意等)
- 質問13 : 質問機会の確保と質問への適切な対応
- 質問14 : 学生の理解度の確認と授業への反映
- 質問15 : (自分は) 授業を理解できたと思うか
- 質問16 : 授業は興味・関心・意欲を引き出したか
- 質問17 : 新しい知識・技術・理論等の習得への有用性



質問項目	平均
質問18	4.7
質問19	4.5
質問20	4.4
質問21	4.3
質問22	4.6
質問23	4.7
平均	4.5

- 質問18 : (自分は) 授業に真面目に取り組んだと思うか
- 質問19 : 授業内容や到達目標を理解して受講したか
- 質問20 : 欠席回数 (0回→5ポイント、1回→4、2回→3…)
- 質問21 : 授業の予習・復習をおこなったか
- 質問22 : レポート・課題等に積極的に取り組んだか
- 質問23 : 私語・携帯電話等の自粛、教員及び他者の発言傾聴

学 部 名	学 科 名	担当者名	科 目 名	履修者数
健康生活学部	子ども学科	石川由香里	保育内容（人間関係）	40

2017 年度前期授業評価アンケート集計結果： 教員による分析・評価と 2018 年度に向けての取り組み

I. 分析と評価

この科目は学科の必修科目であると同時に、保育士資格管区にあたる。授業評価に関しては、いずれの項目もほぼ同じような数値が並んでいるが、質問 16 の「授業は興味・関心・意欲を引き出したか」という項目が最も数値が低いことは、大きな反省点である。2 年生の前期は 6 月中旬に保育所実習で 2 週間授業が抜けてしまい、継続性を持って取り組みづらいことが原因として考えられると同時に、もし実習に結び付いた授業ができていたならば、もっと興味関心につながられるはずだからである。一人一人の実習での体験は異なるものの、そこからいかに共有できる経験を引き出せるか、課題としたい。

また、受講態度については質問 21 「授業の予習・復習を行ったか」という項目の数値が低い。実習とその準備で大変だろうと思い、課題を出すことを控えていたことが裏目に出た結果と言える。なお、受講態度の上位グループ、下位グループで授業評価がわけて記載されているが、実際には下位グループは 1 名のみであり、その結果が大きく記されてしまう現行の方法は不適切だと考える。

II. 2018 年度に向けての取り組み

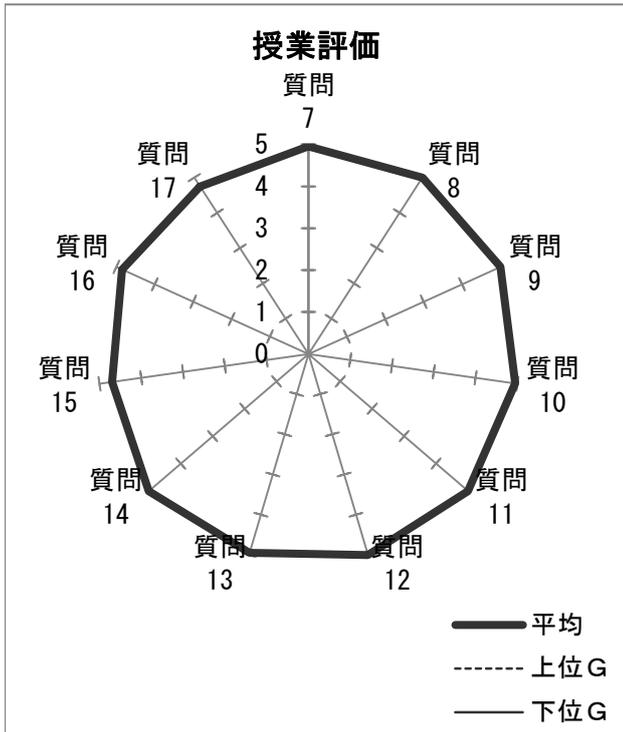
2018 年度担当予定科目名：保育内容（人間関係）

(同じ、あるいは同様の科目を担当しない場合でも、新たな取り組みの可能性についてコメントする。)

授業期間のほぼ中間で行われる保育所実習の前後において、いかに継続的に授業を進められるかがカギになる。そのためには、分析と評価の項でも記載したとおり、実習で学んできたことを講義の中に吸い上げる工夫が必要だと思う。演習科目でもあるので、ディスカッションの場面を多くし、経験を共有したうえで、その分析を的確に行うような授業構成を考えていきたい。

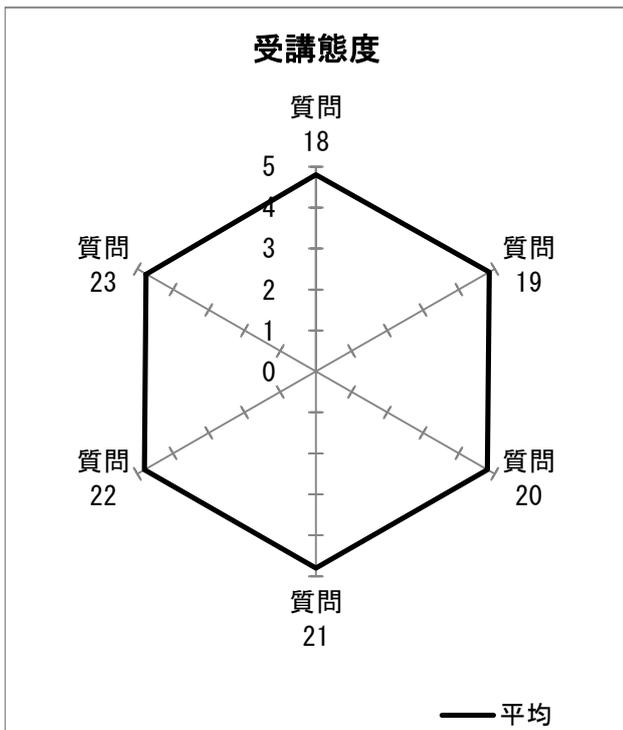
科目コード 815 (2017年度 前期)

健康生活学部 子ども学科 石川 由香里 教育社会学



質問項目	平均	上位G	下位G
質問 7	5.0	5.0	#DIV/0!
質問 8	5.0	5.0	#DIV/0!
質問 9	5.0	5.0	#DIV/0!
質問10	5.0	5.0	#DIV/0!
質問11	5.0	5.0	#DIV/0!
質問12	5.0	5.0	#DIV/0!
質問13	5.0	5.0	#DIV/0!
質問14	5.0	5.0	#DIV/0!
質問15	4.7	4.7	#DIV/0!
質問16	4.9	4.9	#DIV/0!
質問17	4.8	4.8	#DIV/0!
平均	4.9	4.9	#DIV/0!

質問 7 : 授業の目標説明とシラバスに沿った実施
 質問 8 : 教員の授業時間遵守
 質問 9 : 教員の話し方
 質問10 : 教材・機器・板書等の効果的な使用
 質問11 : 教員の説明のわかり易さ
 質問12 : 教員の授業環境に対する配慮 (私語の注意等)
 質問13 : 質問機会の確保と質問への適切な対応
 質問14 : 学生の理解度の確認と授業への反映
 質問15 : (自分は) 授業を理解できたと思うか
 質問16 : 授業は興味・関心・意欲を引き出したか
 質問17 : 新しい知識・技術・理論等の習得への有用性



質問項目	平均
質問18	4.8
質問19	4.9
質問20	4.8
質問21	4.8
質問22	4.8
質問23	4.8
平均	4.8

質問18 : (自分は) 授業に真面目に取り組んだと思うか
 質問19 : 授業内容や到達目標を理解して受講したか
 質問20 : 欠席回数 (0回→5ポイント、1回→4、2回→3…)
 質問21 : 授業の予習・復習をおこなったか
 質問22 : レポート・課題等に積極的に取り組んだか
 質問23 : 私語・携帯電話等の自粛、教員及び他者の発言傾聴

学 部 名	学 科 名	担当者名	科 目 名	履修者数
健康生活学部	子ども学科	石川由香里	教育社会学	20

2017 年度前期授業評価アンケート集計結果： 教員による分析・評価と 2018 年度に向けての取り組み

I. 分析と評価

この科目は講義科目として設定されているが、学生の主体的で積極的な取り組みを導くために、発表形式を取り入れた。数人のグループに分け、担当した学術論文の内容を報告してもらったうえ、フロアから質問を受け付け、それに応答してもらい、のちに教員が解説を行う、というプロセスを繰り返した。前年度も同様の取り組みをしたのだが、その年度はグループワークがうまくいかなかった。しかしこのクラスは互いに助け合い相談しながら、よく準備をしていた。さらに、毎回積極的に質問が出たことも、授業を白熱させる結果に結び付いた。それは、受講態度の全て 4.8 以上という数値によく表れていると思う。

こちらから指定した論文は最新の学術論文であり、それが質問 15「自分は授業を理解できたと思う」が他と比べて低い 4.7 という数値になっているのだと思うが、この場合には「わからなかった」という余地を残していることこそが意味があると考えている。

とにかく、学生たちが意欲的に取り組んでくれたことに、心から感謝している。

II. 2018 年度に向けての取り組み

2018 年度担当予定科目名：教育社会学

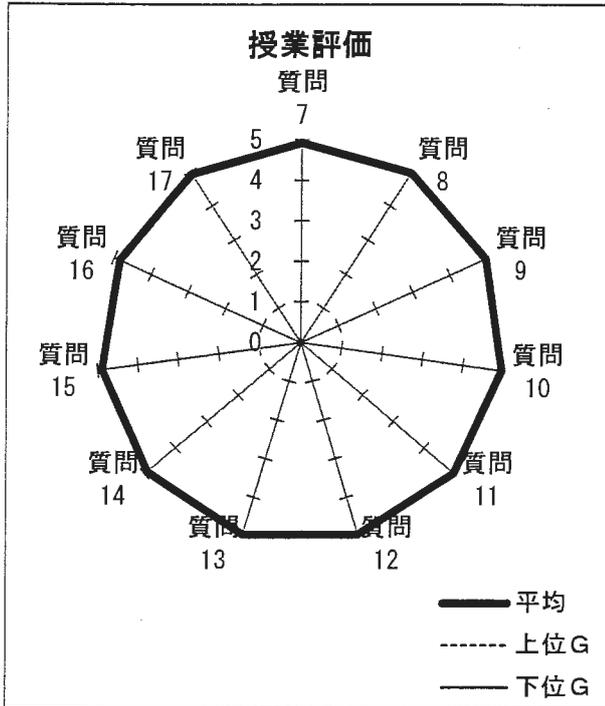
(同じ、あるいは同様の科目を担当しない場合でも、新たな取り組みの可能性についてコメントする。)

今年と同様の形式を来年も試してみたいと考えている。ただし、今年度の学生と来年度の学生の資質には違いがあるため、もう少し取り組みやすい論文を課題とすることを考えている。

また、今年度は各自が発表した内容と関連のある事柄を個別にテーマとして与えた最終レポートを課した。それについては、後期の授業で発展的に取り扱い、考察をさらに深めていきたいと考えている。それについても、後期の授業評価アンケートの結果をみながら、来年度へとつなげていきたい。

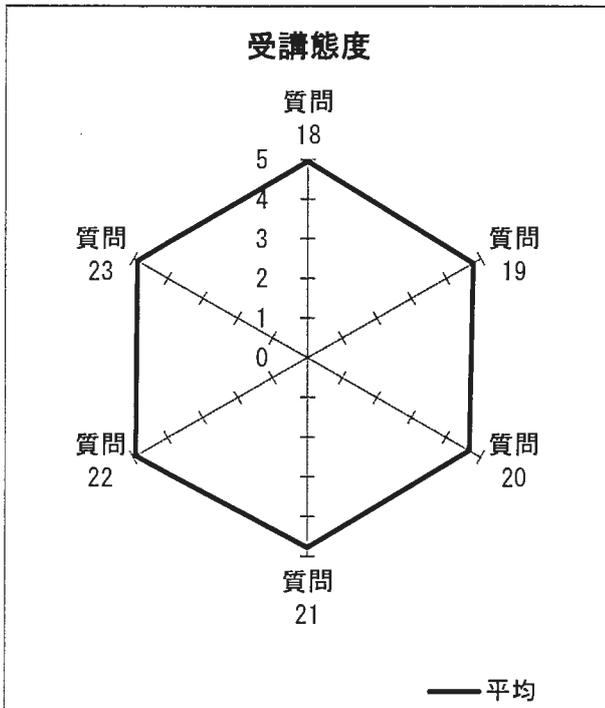
科目コード 816 (2017年度 前期)

健康生活学部 子ども学科 重成 久美 保育・教育課程論



質問項目	平均	上位G	下位G
質問 7	4.9	4.9	#DIV/0!
質問 8	5.0	5.0	#DIV/0!
質問 9	5.0	5.0	#DIV/0!
質問10	5.0	5.0	#DIV/0!
質問11	5.0	5.0	#DIV/0!
質問12	5.0	5.0	#DIV/0!
質問13	5.0	5.0	#DIV/0!
質問14	4.9	4.9	#DIV/0!
質問15	4.9	4.9	#DIV/0!
質問16	4.9	4.9	#DIV/0!
質問17	4.9	4.9	#DIV/0!
平均	4.9	4.9	#DIV/0!

- 質問 7 : 授業の目標説明とシラバスに沿った実施
- 質問 8 : 教員の授業時間遵守
- 質問 9 : 教員の話し方
- 質問10 : 教材・機器・板書等の効果的な使用
- 質問11 : 教員の説明のわかり易さ
- 質問12 : 教員の授業環境に対する配慮 (私語の注意等)
- 質問13 : 質問機会の確保と質問への適切な対応
- 質問14 : 学生の理解度の確認と授業への反映
- 質問15 : (自分は) 授業を理解できたと思うか
- 質問16 : 授業は興味・関心・意欲を引き出したか
- 質問17 : 新しい知識・技術・理論等の習得への有用性



質問項目	平均
質問18	5.0
質問19	4.8
質問20	4.7
質問21	4.8
質問22	4.9
質問23	4.9
平均	4.8

- 質問18 : (自分は) 授業に真面目に取り組んだと思うか
- 質問19 : 授業内容や到達目標を理解して受講したか
- 質問20 : 欠席回数 (0回→5ポイント、1回→4、2回→3…)
- 質問21 : 授業の予習・復習をおこなったか
- 質問22 : レポート・課題等に積極的に取り組んだか
- 質問23 : 私語・携帯電話等の自粛、教員及び他者の発言傾聴

学 部 名	学 科 名	担当者名	科 目 名	履修者数
健康生活学部	子ども学科	重成久美	保育・教育課程論	31名

2017年度前期授業評価アンケート集計結果：教員による分析・評価と2018年度に向けての取り組み

I. 分析と評価

当該科目は、保育士資格・幼稚園教諭免許状の必修科目で、3年後期の幼稚園教育実習要件となる「計画」に関する授業である。

まず、本結果の受講態度を見ると、平均4.8点となっており、評価の高い項目は18「授業に真面目に取り組んだと思うか」5.0点、22「レポート・課題に積極的に取り組んだか」4.9点、23「私語・携帯電話の自粛、教員及び他者の発言傾聴」4.9点であった。当該科目はほぼ毎回全員の学生が主体的に授業取り組み、よく考える態度が見られたことから、これらの高さは妥当であると思われる。一方、評価の低い項目は20「欠席回数」4.7点であった。

また、授業評価も平均4.9と良好であり、8「教員の授業時間遵守」、9「教員の話し方」、10「教材・聞き・板書等の効果的な使用」、11「教員の説明のわかり易さ」、12「教員の授業環境に対する配慮」、13「質問機会の確保と質問への適切な対応」が5.0点、その他は4.9点であった。

当該授業の関しては、「計画・立案」という難解な印象の強い科目であるため、従来よりできるだけ楽しく、実践に即した考える授業になるよう心がけてきた。しかし、昨年度は、「幼小保接続カリキュラム」の授業内容が難解であったことが推測されたため、今年は幼稚園教育要領、保育所保育指針の改訂の柱となる重要性を強調しつつ、教育方法学等の授業との関連も意識しながら授業を行ったことが理解を易くできたかもしれないと推測している。

II. 2018年度に向けての取り組み

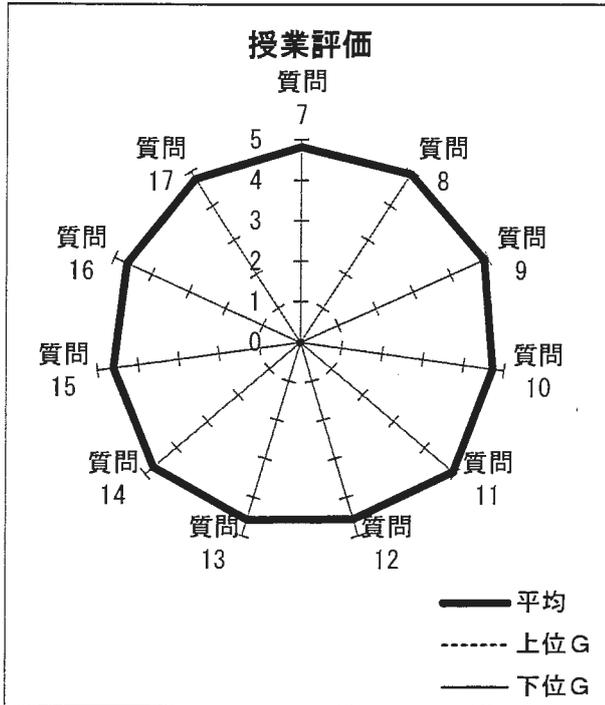
2018年度担当予定科目名：保育・教育課程論

(同じ、あるいは同様の科目を担当しない場合でも、新たな取り組みの可能性についてコメントする。)

上記に示したとおり、当該科目は難解なイメージが持たれやすい科目である。そのため、これまでどおりできるだけ楽しく、実践に即した考えることのできる授業になるよう、当該学年の特徴にそって実践していきたい。具体的には、新幼稚園教育要領、新保育所保育指針等の解説書に示されているイラスト等を活用したり、グループワークを増やしたりするなど、理解しやすく主体的に取り組める工夫を想定している。授業を実施しながら、自身のカリキュラムマネジメントもしっかり行っていきたい。

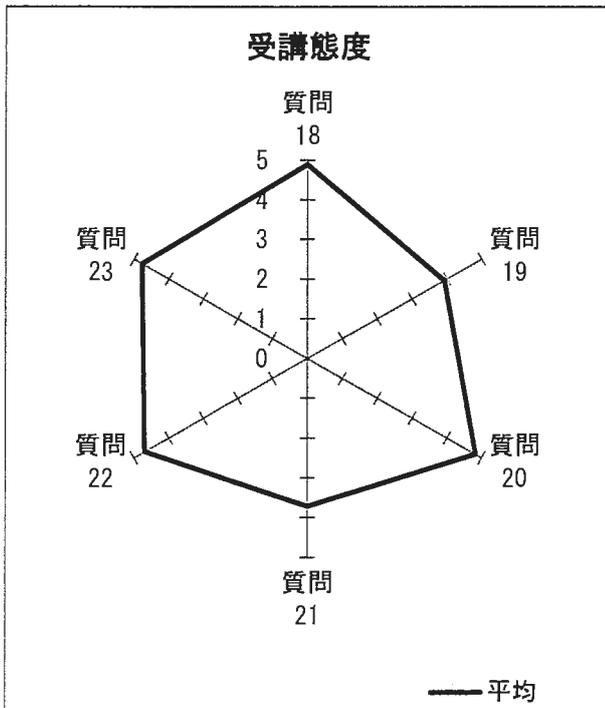
科目コード 817 (2017年度 前期)

健康生活学部 子ども学科 重成 久美 保育原理



質問項目	平均	上位G	下位G
質問 7	4.8	4.8	#DIV/0!
質問 8	4.9	4.9	#DIV/0!
質問 9	4.9	4.9	#DIV/0!
質問10	4.7	4.7	#DIV/0!
質問11	4.9	4.9	#DIV/0!
質問12	4.6	4.6	#DIV/0!
質問13	4.6	4.6	#DIV/0!
質問14	4.7	4.7	#DIV/0!
質問15	4.6	4.6	#DIV/0!
質問16	4.7	4.7	#DIV/0!
質問17	4.8	4.8	#DIV/0!
平均	4.8	4.8	#DIV/0!

質問 7 : 授業の目標説明とシラバスに沿った実施
 質問 8 : 教員の授業時間遵守
 質問 9 : 教員の話し方
 質問10 : 教材・機器・板書等の効果的な使用
 質問11 : 教員の説明のわかり易さ
 質問12 : 教員の授業環境に対する配慮(私語の注意等)
 質問13 : 質問機会の確保と質問への適切な対応
 質問14 : 学生の理解度の確認と授業への反映
 質問15 : (自分は) 授業を理解できたと思うか
 質問16 : 授業は興味・関心・意欲を引き出したか
 質問17 : 新しい知識・技術・理論等の習得への有用性



質問項目	平均
質問18	4.9
質問19	3.9
質問20	4.8
質問21	3.7
質問22	4.7
質問23	4.8
平均	4.5

質問18 : (自分は) 授業に真面目に取り組んだと思うか
 質問19 : 授業内容や到達目標を理解して受講したか
 質問20 : 欠席回数(0回→5ポイント、1回→4、2回→3...)
 質問21 : 授業の予習・復習をおこなったか
 質問22 : レポート・課題等に積極的に取り組んだか
 質問23 : 私語・携帯電話等の自粛、教員及び他者の発言傾聴

学 部 名	学 科 名	担当者名	科 目 名	履修者数
健康生活学部	子ども学科	重成久美	保育原理	40名

2017年度前期授業評価アンケート集計結果： 教員による分析・評価と2018年度に向けての取り組み

I. 分析と評価

当該科目は、保育士養成課程の保育の本質・目的の理解に関する保育の基礎科目である。まず、本結果の受講態度を見ると、平均4.5点のこれまでに比してあまり高いとはいえない評価が示されている。このうち、18「授業に真面目に取り組んだと思うか」、20「欠席回数」、23「授業中の私語・携帯電話の自粛、教員及び他者の発言傾聴」の3項目は4.8～4.9点と比較的高評価であったが、19「授業内容や到達目標を理解して受講したか」、21「授業の予習・復習をおこなったか」の2項目は3.7点、3.9点とかなり低い評価となった。「授業内容や到達目標」については初回の授業で授業計画を配付し必ず説明しているが、理解をするに至っていなかった可能性がある。また、「授業の予習・復習」については時折教科書を読む予習を課したこともあるが、その確認をしておらず、復習はそもそもあまり指示することがなかったことため、評価が得られなかったと思われる。今後は授業内容の明確な説明と予習復習の指示の仕方を検討していきたい。

一方、授業評価を見ると、平均4.8点と比較的高評価が示されており、とりわけ8「教員の授業時間遵守」、9「教員の話し方」、11「教員の説明のわかり易さ」についてはいずれも4.9点と高得点であった。しかし、12「教員の授業環境に対する配慮」、13「質問機会の確保と質問への適切な対応」、15「授業を理解できたと思うか」の3点は4.6点と比較的低い得点となった。「授業環境に対する配慮」は、殆ど私語がなかったため配慮が必要なかったのだが、「質問機会」についてはリアクションペーパーへの質問もなかったものの、口頭で質問する機会を設けた方がよいのかもしれない。ただ、「授業の理解」は抽象的な理解で終わってしまっている可能性もあるかと思われる。1年生前期は特に具体的で明解な理解ができるようより一層の工夫をしていきたい。

II. 2018年度に向けての取り組み

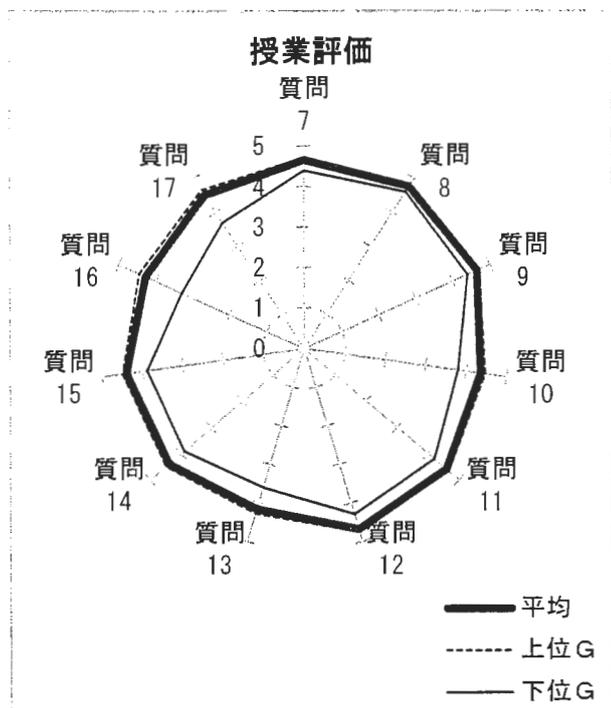
2018年度担当予定科目名：保育原理 I

(同じ、あるいは同様の科目を担当しない場合でも、新たな取り組みの可能性についてコメントする。)

大学入学後初めて受講する1年生前期の科目については、授業をより理解しやすいよう明解な内容になるよう工夫をする必要があると思われる。そのため、高校教員との連続性を感じられるような授業の方法を検討していきたい。

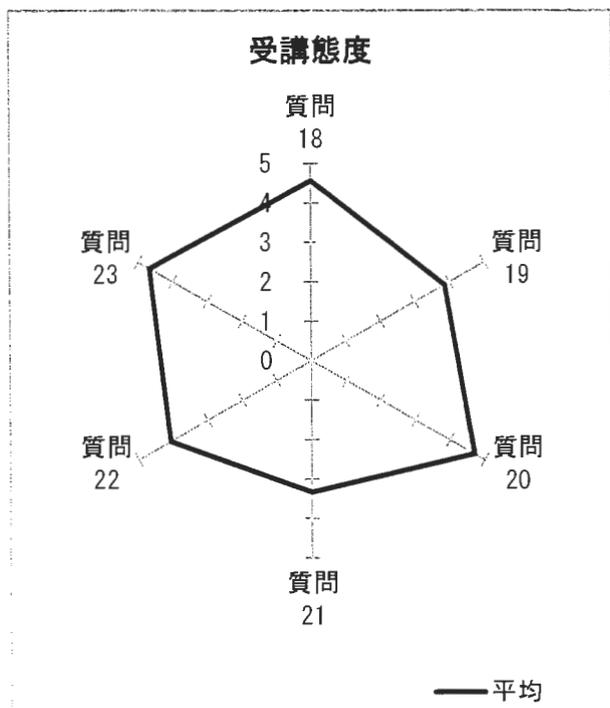
科目コード 818 (2017年度 前期)

健康生活学部 子ども学科 吉田 真理子 健康・スポーツ論



質問項目	平均	上位G	下位G
質問 7	4.7	4.7	4.4
質問 8	4.8	4.8	4.6
質問 9	4.7	4.7	4.4
質問10	4.4	4.5	3.8
質問11	4.6	4.7	4.2
質問12	4.7	4.8	4.3
質問13	4.2	4.3	3.6
質問14	4.4	4.5	3.9
質問15	4.4	4.5	3.9
質問16	4.3	4.5	3.3
質問17	4.5	4.7	3.7
平均	4.5	4.6	4.0

- 質問 7 : 授業の目標説明とシラバスに沿った実施
- 質問 8 : 教員の授業時間遵守
- 質問 9 : 教員の話し方
- 質問10 : 教材・機器・板書等の効果的な使用
- 質問11 : 教員の説明のわかり易さ
- 質問12 : 教員の授業環境に対する配慮 (私語の注意等)
- 質問13 : 質問機会の確保と質問への適切な対応
- 質問14 : 学生の理解度の確認と授業への反映
- 質問15 : (自分は) 授業を理解できたと思うか
- 質問16 : 授業は興味・関心・意欲を引き出したか
- 質問17 : 新しい知識・技術・理論等の習得への有用性



質問項目	平均
質問18	4.6
質問19	3.9
質問20	4.7
質問21	3.3
質問22	4.1
質問23	4.7
平均	4.2

- 質問18 : (自分は) 授業に真面目に取り組んだと思うか
- 質問19 : 授業内容や到達目標を理解して受講したか
- 質問20 : 欠席回数 (0回→5ポイント、1回→4、2回→3…)
- 質問21 : 授業の予習・復習をおこなったか
- 質問22 : レポート・課題等に積極的に取り組んだか
- 質問23 : 私語・携帯電話等の自粛、教員及び他者の発言傾聴

学部名	学 科 名	担当者名	科 目 名	履修者数
健康生活学部	子ども学科	吉田真理子	健康・スポーツ論	64名

2017年度前期授業評価アンケート集計結果：教員による分析・評価と2018年度に向けての取り組み

I. 分析と評価

同じ学部ではあっても、デザインと子ども学科の異なる新生がどこまで、健康、スポーツに興味関心を持って取り組めるのか、ここ数年考え、内容も検討し直して引き付けられる講義を目指してみました。高校までと違い、寮生活、一人暮らしの学生も多く居た為、日頃からの食生活、運動、睡眠、現在問題となっている、携帯のことなど盛り込んでみた為、身近なこととして捉えられたようでした。

1, 2限目だったためかもしれませんが、欠伸が目立ち、これも健康に関係しているのではないかと疑問に思いました。

II. 2018年度に向けての取り組み

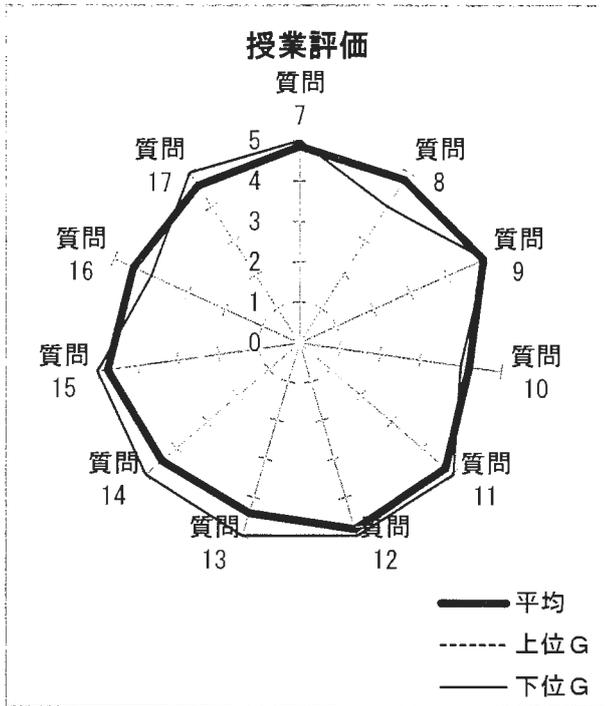
2018年度担当予定科目名：健康・スポーツ論

(同じ、あるいは同様の科目を担当しない場合でも、新たな取り組みの可能性についてコメントする。)

- I 講義のみのため、身体を動かして、理解させることが出来なかったように思い、次年度は、体育館やトレーニング室を利用して、理解させても良いかと考えています。
- II 授業の最後に試験を入れていますが、2回に分けて少ない内容の理解を促すよう考えています。
- III 課題、発表などを盛り込んではいましたが、時間を掛けて深く掘り下げた内容にするよう考えます。

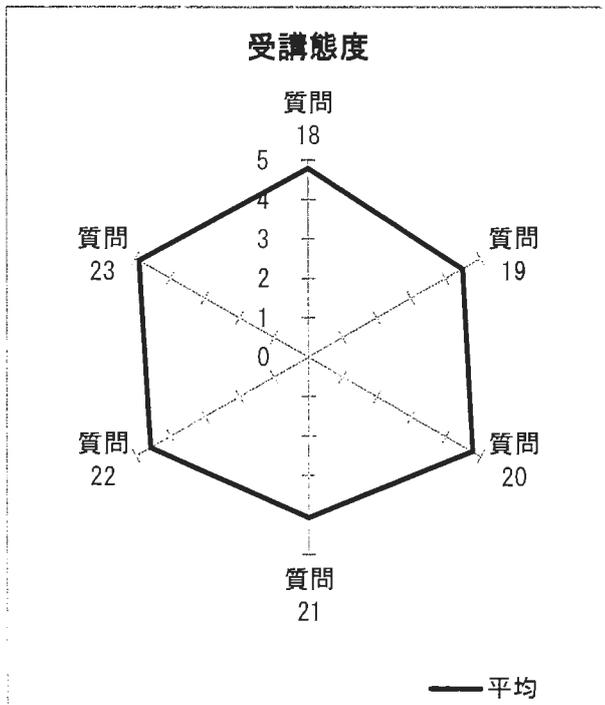
科目コード 819 (2017年度 前期)

健康生活学部 子ども学科 吉田 真理子 身体表現 I



質問項目	平均	上位G	下位G
質問 7	4.9	4.9	5.0
質問 8	4.8	4.8	4.0
質問 9	5.0	5.0	5.0
質問10	4.2	4.2	4.0
質問11	4.8	4.8	5.0
質問12	4.8	4.8	5.0
質問13	4.4	4.4	5.0
質問14	4.5	4.5	5.0
質問15	4.8	4.8	5.0
質問16	4.5	4.5	4.0
質問17	4.6	4.6	5.0
平均	4.7	4.6	4.7

質問 7 : 授業の目標説明とシラバスに沿った実施
 質問 8 : 教員の授業時間遵守
 質問 9 : 教員の話し方
 質問10 : 教材・機器・板書等の効果的な使用
 質問11 : 教員の説明のわかり易さ
 質問12 : 教員の授業環境に対する配慮 (私語の注意等)
 質問13 : 質問機会の確保と質問への適切な対応
 質問14 : 学生の理解度の確認と授業への反映
 質問15 : (自分は) 授業を理解できたと思うか
 質問16 : 授業は興味・関心・意欲を引き出したか
 質問17 : 新しい知識・技術・理論等の習得への有用性



質問項目	平均
質問18	4.8
質問19	4.5
質問20	4.8
質問21	4.1
質問22	4.6
質問23	4.9
平均	4.6

質問18 : (自分は) 授業に真面目に取り組んだと思うか
 質問19 : 授業内容や到達目標を理解して受講したか
 質問20 : 欠席回数 (0回→5ポイント、1回→4、2回→3...)
 質問21 : 授業の予習・復習をおこなったか
 質問22 : レポート・課題等に積極的に取り組んだか
 質問23 : 私語・携帯電話等の自粛、教員及び他者の発言傾聴

学 部 名	学 科 名	担 当 者 名	科 目 名	履 修 者 数
健康生活学部	子ども学科	吉田真理子	身体表現 I	32名

2017 年度前期授業評価アンケート集計結果 : 教員による分析・評価と 2018 年度に向けての取り組み

I. 分析と評価

前回受け持った学年が、3年生だったことで、どのように改善していくか、悩みながら取り組みました。座学と違い、学年の違う学生がいると、同じ学科の後輩とのグループ編成に戸惑う姿が見られました。表現の世界ですから、自分の殻を取り除いて活動することで、実習にも繋がると考え、集団で、グループで、一人で、と人数を変えて取り組んだ結果、意外にも一人でも発揮出来ることを学びました。元気の良い一年生でどちらも楽しく教え学べたと感じています。

II. 2018 年度に向けての取り組み

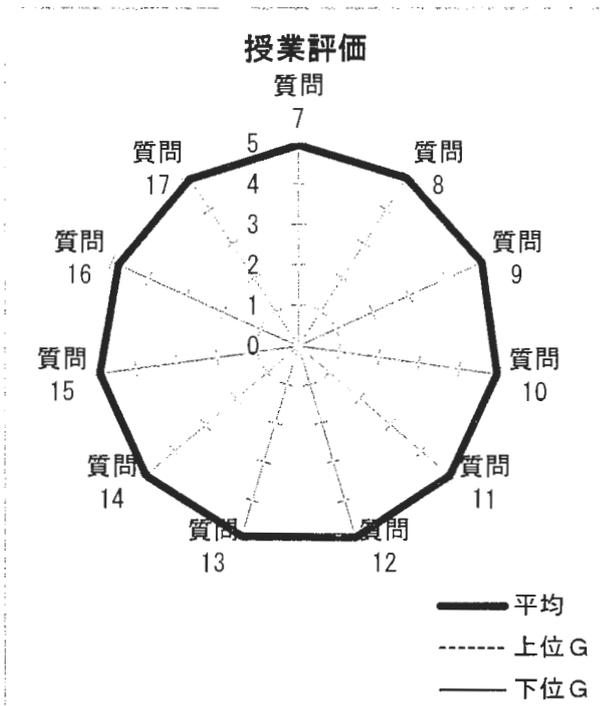
2018 年度担当予定科目名 : 身体表現Ⅱ _____

(同じ、あるいは同様の科目を担当しない場合でも、新たな取り組みの可能性についてコメントする。)

- I 準備実習などがはじまろうとしている学年の為、この講義が、保育士としての人間性や実習の役に立つ内容になるよう興味、関心を引くことから、苦手でもまずは取り組むことで視野が広がり新たな自分を表現できることが知れる内容を考えていく。

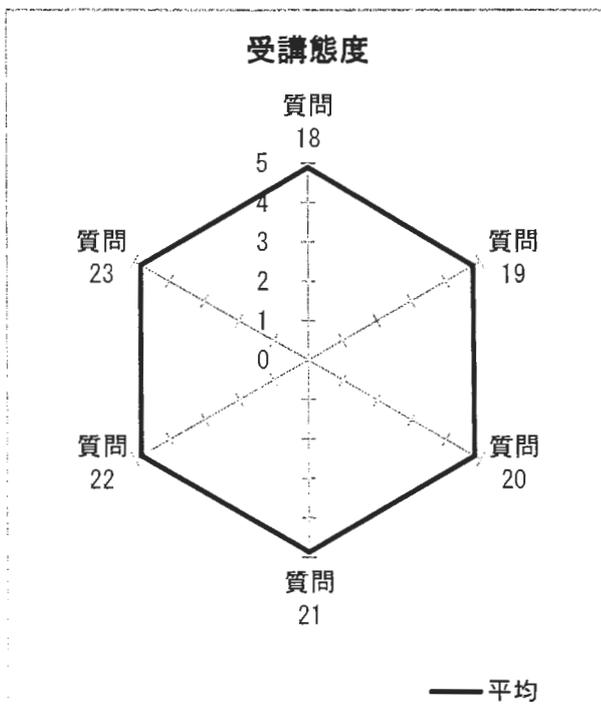
科目コード 820 (2017年度 前期)

健康生活学部 子ども学科 吉田 真理子 身体表現Ⅱ



質問項目	平均	上位 G	下位 G
質問 7	5.0	5.0	#DIV/0!
質問 8	4.9	4.9	#DIV/0!
質問 9	5.0	5.0	#DIV/0!
質問10	4.9	4.9	#DIV/0!
質問11	4.9	4.9	#DIV/0!
質問12	5.0	5.0	#DIV/0!
質問13	4.9	4.9	#DIV/0!
質問14	4.9	4.9	#DIV/0!
質問15	4.9	4.9	#DIV/0!
質問16	4.8	4.8	#DIV/0!
質問17	4.9	4.9	#DIV/0!
平均	4.9	4.9	#DIV/0!

- 質問 7 : 授業の目標説明とシラバスに沿った実施
 質問 8 : 教員の授業時間遵守
 質問 9 : 教員の話し方
 質問10 : 教材・機器・板書等の効果的な使用
 質問11 : 教員の説明のわかり易さ
 質問12 : 教員の授業環境に対する配慮 (私語の注意等)
 質問13 : 質問機会の確保と質問への適切な対応
 質問14 : 学生の理解度の確認と授業への反映
 質問15 : (自分は) 授業を理解できたと思うか
 質問16 : 授業は興味・関心・意欲を引き出したか
 質問17 : 新しい知識・技術・理論等の習得への有用性



質問項目	平均
質問18	4.9
質問19	4.8
質問20	4.8
質問21	4.9
質問22	4.8
質問23	4.8
平均	4.8

- 質問18 : (自分は) 授業に真面目に取り組んだと思うか
 質問19 : 授業内容や到達目標を理解して受講したか
 質問20 : 欠席回数 (0回→5ポイント、1回→4、2回→3…)
 質問21 : 授業の予習・復習をおこなったか
 質問22 : レポート・課題等に積極的に取り組んだか
 質問23 : 私語・携帯電話等の自粛、教員及び他者の発言傾聴

学 部 名	学 科 名	担当者名	科 目 名	履修者数
健康生活学部	子ども学科	吉田真理子	身体表現Ⅱ	29名

2017年度前期授業評価アンケート集計結果：教員による分析・評価と2018年度に向けての取り組み

I. 分析と評価

初めて受け持ち、身体表現の講座が最後となる学年だったため、ありとあらゆる内容に挑戦してみました。どの分野に於いても意欲的で、リーダーが常にいて、引っ張っていける学年でしたので、発表の機会も多く取り、学生も納得できた内容になったと思いました。

II. 2018年度に向けての取り組み

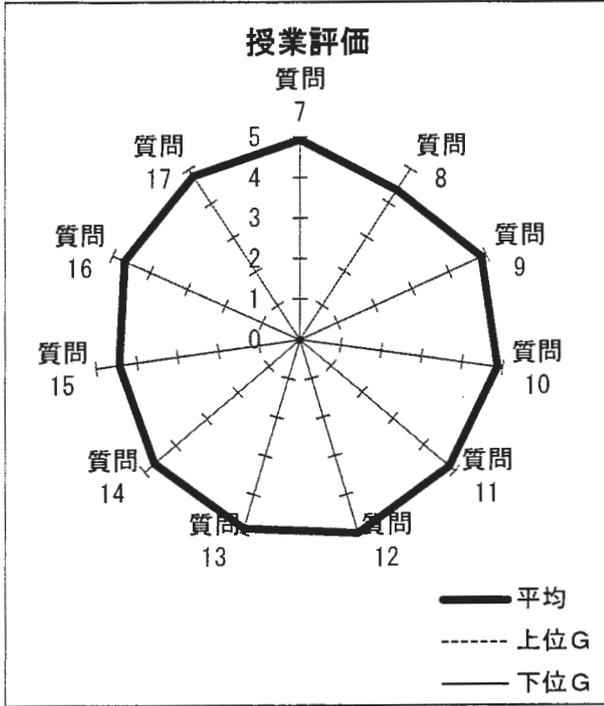
2018年度担当予定科目名：身体表現Ⅱ _____

(同じ、あるいは同様の科目を担当しない場合でも、新たな取り組みの可能性についてコメントする。)

- I 全体として考えさせる内容が多かったため、今後は、少人数から全体までと、個々に任せる内容を考えていきたい。
- II 実際、現場でどれ位役に立つか、学生の意見も取り入れながら内容の検討をする。
- III 許されるならば、講義のまとめとして、蛍雪会などで発表できればと考えている。

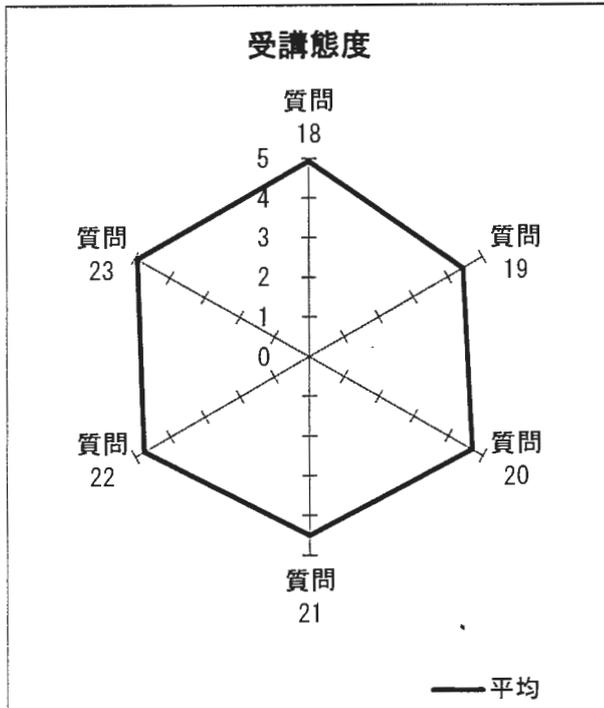
科目コード 821 (2017年度 前期)

健康生活学部 子ども学科 江頭 ひとみ 養護概説



質問項目	平均	上位G	下位G
質問 7	4.9	4.9	#DIV/0!
質問 8	4.4	4.4	#DIV/0!
質問 9	4.9	4.9	#DIV/0!
質問10	4.9	4.9	#DIV/0!
質問11	4.8	4.8	#DIV/0!
質問12	5.0	5.0	#DIV/0!
質問13	4.9	4.9	#DIV/0!
質問14	4.7	4.7	#DIV/0!
質問15	4.4	4.4	#DIV/0!
質問16	4.7	4.7	#DIV/0!
質問17	4.8	4.8	#DIV/0!
平均	4.8	4.8	#DIV/0!

- 質問 7 : 授業の目標説明とシラバスに沿った実施
- 質問 8 : 教員の授業時間遵守
- 質問 9 : 教員の話し方
- 質問10 : 教材・機器・板書等の効果的な使用
- 質問11 : 教員の説明のわかり易さ
- 質問12 : 教員の授業環境に対する配慮 (私語の注意等)
- 質問13 : 質問機会の確保と質問への適切な対応
- 質問14 : 学生の理解度の確認と授業への反映
- 質問15 : (自分は) 授業を理解できたと思うか
- 質問16 : 授業は興味・関心・意欲を引き出したか
- 質問17 : 新しい知識・技術・理論等の習得への有用性



質問項目	平均
質問18	4.9
質問19	4.4
質問20	4.7
質問21	4.5
質問22	4.8
質問23	4.9
平均	4.7

- 質問18 : (自分は) 授業に真面目に取り組んだと思うか
- 質問19 : 授業内容や到達目標を理解して受講したか
- 質問20 : 欠席回数 (0回→5ポイント、1回→4、2回→3…)
- 質問21 : 授業の予習・復習をおこなったか
- 質問22 : レポート・課題等に積極的に取り組んだか
- 質問23 : 私語・携帯電話等の自粛、教員及び他者の発言傾聴

学 部 名	学 科 名	担当者名	科 目 名	履修者数
健康生活学部	子ども学科	江頭 ひとみ	養護概説	16

2017年度前期授業評価アンケート集計結果：教員による分析・評価と2018年度に向けての取り組み

I. 分析と評価

質問8「教員の授業時間遵守」が評価4.4であった。

昨年度と比べ、時間超過をかなり気にしてはいたのだが、やはり、内容にこだわってしまったと反省している。授業時間の開始で遅くなることはなかったが、講義の内容を多く入れてしまい、終了時間が少しだけ延びたことが数回あった。

同じく低かったのが、質問15「(自分は) 授業を理解できたと思うか」で評価4.4であった。

質問11「教員の説明の分かり易さ」では、評価4.8であったが、授業の内容が少し難しかったのかと、内容の精選と理解を高めていく指導の工夫が必要だと考える。

質問19「授業内容や到達目標を理解して受講したか」の評価4.4と、質問21「授業の予習復習をおこなったか」の評価4.5について、授業の予習復習の大切さや学習内容を自分のものにするための気構えについての指導が十分ではなかったと反省する。

質問12「教員の授業環境に対する配慮（私語の注意等）」については、評価5.0であった。

指導を学生が受け止めていてくれたことを嬉しく思った。

平均が4.8という結果で、あと少しという思いがしている。

II. 2018年度に向けての取り組み

2018年度担当予定科目名： 「養護実習」、「教育相談の理論」

(同じ、あるいは同様の科目を担当しない場合でも、新たな取り組みの可能性についてコメントする。)

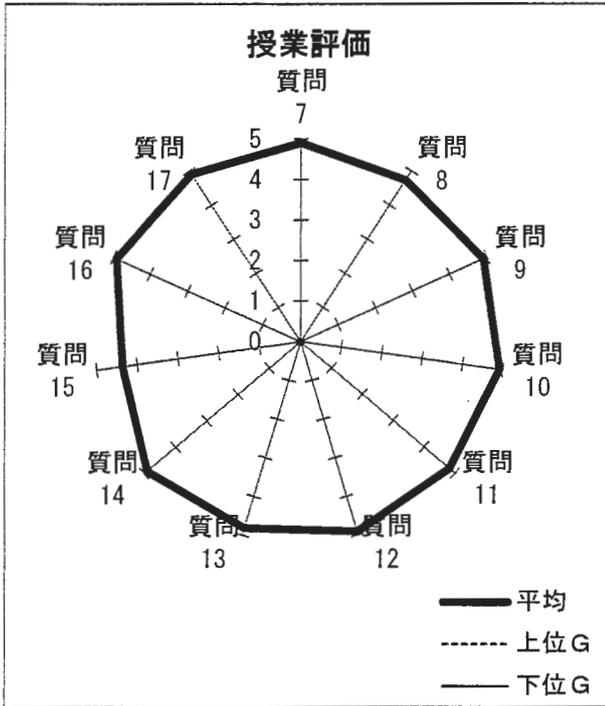
「教員の授業時間遵守」については、ずいぶん気をつけてはいたのだが、まだ不足していた。

授業の内容量のバランスを考え、時間厳守に努めたいと思う。

学生が自ら学習していこうという気持ちが持てるような指導の在り方を、模索していきたいと考える。

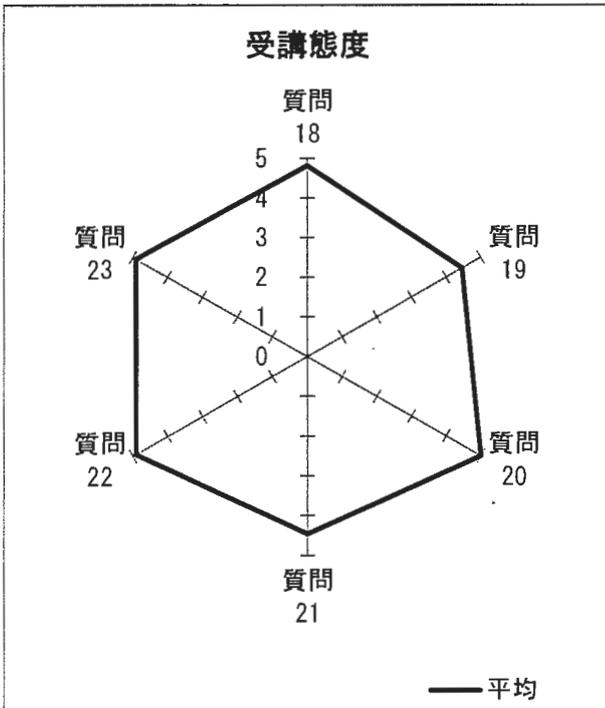
科目コード 822 (2017年度 前期)

健康生活学部 子ども学科 江頭 ひとみ 看護技術演習



質問項目	平均	上位G	下位G
質問 7	4.9	4.9	#DIV/0!
質問 8	4.7	4.7	#DIV/0!
質問 9	4.9	4.9	#DIV/0!
質問10	4.9	4.9	#DIV/0!
質問11	4.8	4.8	#DIV/0!
質問12	4.9	4.9	#DIV/0!
質問13	4.8	4.8	#DIV/0!
質問14	4.9	4.9	#DIV/0!
質問15	4.4	4.4	#DIV/0!
質問16	4.9	4.9	#DIV/0!
質問17	4.9	4.9	#DIV/0!
平均	4.8	4.8	#DIV/0!

- 質問 7 : 授業の目標説明とシラバスに沿った実施
- 質問 8 : 教員の授業時間遵守
- 質問 9 : 教員の話し方
- 質問10 : 教材・機器・板書等の効果的な使用
- 質問11 : 教員の説明のわかり易さ
- 質問12 : 教員の授業環境に対する配慮(私語の注意等)
- 質問13 : 質問機会の確保と質問への適切な対応
- 質問14 : 学生の理解度の確認と授業への反映
- 質問15 : (自分は) 授業を理解できたと思うか
- 質問16 : 授業は興味・関心・意欲を引き出したか
- 質問17 : 新しい知識・技術・理論等の習得への有用性



質問項目	平均
質問18	4.8
質問19	4.5
質問20	5.0
質問21	4.5
質問22	4.9
質問23	4.9
平均	4.8

- 質問18 : (自分は) 授業に真面目に取り組んだと思うか
- 質問19 : 授業内容や到達目標を理解して受講したか
- 質問20 : 欠席回数(0回→5ポイント、1回→4、2回→3…)
- 質問21 : 授業の予習・復習をおこなったか
- 質問22 : レポート・課題等に積極的に取り組んだか
- 質問23 : 私語・携帯電話等の自粛、教員及び他者の発言傾聴

学 部 名	学 科 名	担当者名	科 目 名	履修者数
健康生活学部	子ども学科	江頭 ひとみ	看護技術演習	11

2017年度前期授業評価アンケート集計結果：教員による分析・評価と2018年度に向けての取り組み

I. 分析と評価

質問15「(自分は) 授業を理解できたと思うか」で評価4.4であった。その他の授業や指導に関する項目は、評価4.8～4.9であるのだが、実際の看護技術を習得するという科目で、初めての学習の内容だったことで、ハードルが高かったのだろうかと思う。学生にもっと力をつけていくためには、どの部分の学習内容の理解が難しかったのか、細部に振り返っていくことが必要と考える。

次に低かったのが、質問8「教員の授業時間遵守」の評価4.7であった。

昨年度もこの部分が落ち込んでいたので、時間超過をかなり気にしてはいたのだが、必要な内容が多く、絞り込み方が十分ではなかったと反省している。授業時間の開始で遅くなることはなかったが、終了時間が少しだけ延びたことが数回あった。

質問19「授業内容や到達目標を理解して受講したか」と、質問21「授業の予習・復習をおこなったか」の評価が共に4.5だった。実技テストの前には、自主練習をしていたようだが、学生自身にはまだまだ不十分だと感じていたのだろう。学生の技術定着へ向けての指導をもっと工夫する必要があると考える。

質問20「欠席回数」については、評価5.0であった。全員欠席が0だった。一度も、一人も休まず、授業に出席してくれたことは嬉しいことであった。

平均が4.8という結果で、あと少しという思いがしている。

II. 2018年度に向けての取り組み

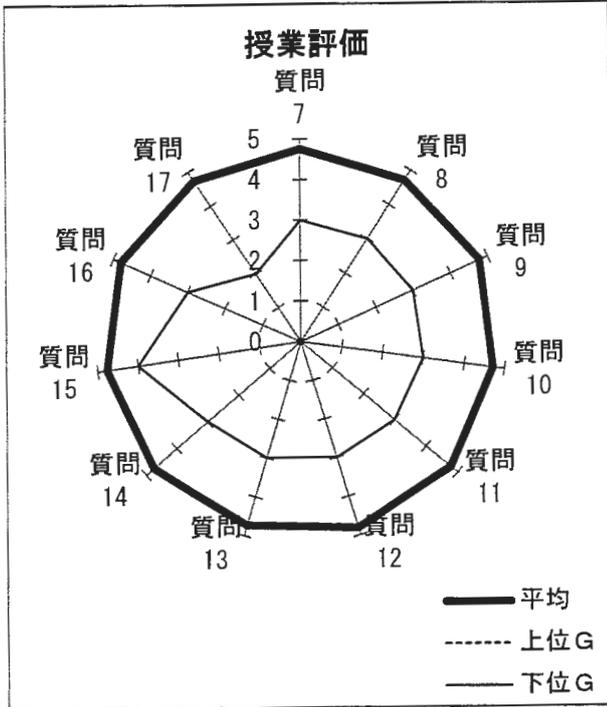
2018年度担当予定科目名： 「看護技術演習」

(同じ、あるいは同様の科目を担当しない場合でも、新たな取り組みの可能性についてコメントする。)

「教員の授業時間遵守」については、ずいぶん気をつけてはいたのだが、まだ不足していた。必要な学習内容を減らすことはできないが、指導方法の工夫をして、時間厳守に努めたいと思う。また、学生の技術定着へ向けての指導をもっと工夫していきたいと思う。

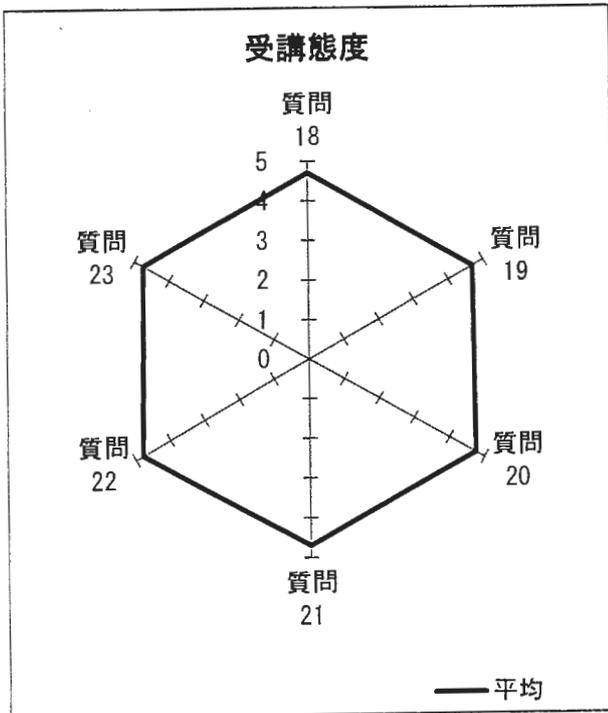
科目コード 823 (2017年度 前期)

健康生活学部 子ども学科 福地 友子 保育実習指導 I



質問項目	平均	上位G	下位G
質問 7	4.8	4.8	3.0
質問 8	4.7	4.8	3.0
質問 9	4.8	4.8	3.0
質問10	4.7	4.8	3.0
質問11	4.8	4.8	3.0
質問12	4.8	4.9	3.0
質問13	4.7	4.8	3.0
質問14	4.8	4.8	3.0
質問15	4.8	4.8	4.0
質問16	4.8	4.8	3.0
質問17	4.7	4.8	2.0
平均	4.8	4.8	3.0

- 質問 7 : 授業の目標説明とシラバスに沿った実施
- 質問 8 : 教員の授業時間遵守
- 質問 9 : 教員の話し方
- 質問10 : 教材・機器・板書等の効果的な使用
- 質問11 : 教員の説明のわかり易さ
- 質問12 : 教員の授業環境に対する配慮 (私語の注意等)
- 質問13 : 質問機会の確保と質問への適切な対応
- 質問14 : 学生の理解度の確認と授業への反映
- 質問15 : (自分は) 授業を理解できたと思うか
- 質問16 : 授業は興味・関心・意欲を引き出したか
- 質問17 : 新しい知識・技術・理論等の習得への有用性



質問項目	平均
質問18	4.7
質問19	4.7
質問20	4.8
質問21	4.7
質問22	4.8
質問23	4.8
平均	4.7

- 質問18 : (自分は) 授業に真面目に取り組んだと思うか
- 質問19 : 授業内容や到達目標を理解して受講したか
- 質問20 : 欠席回数 (0回→5ポイント、1回→4、2回→3…)
- 質問21 : 授業の予習・復習をおこなったか
- 質問22 : レポート・課題等に積極的に取り組んだか
- 質問23 : 私語・携帯電話等の自粛、教員及び他者の発言傾聴

学 部 名	学 科 名	担 当 者 名	科 目 名	履 修 者 数
健康生活学部	子ども学科	福地友子	保育実習指導 I	44 名

2017 年度前期授業評価アンケート集計結果 : 教員による分析・評価と 2017 年度に向けての取り組み

I. 分析と評価

保育士資格の必修科目で、1 年後期から 2 年前期までの 1 年間の授業を 3 名の教員で担当している。本結果の受講態度を見ると平均が 4.7 から 4.8 で、上位グループは 4.8 から 4.9 と概ね高い評価だったが、下位グループは、1 名のみ学生だったが、2.0 から 4.0 と開きがあった。

特に下位グループの低い評価が、質問 17「新しい知識・技術・理解等の習得への有用性」の項目で、2.0 であった。新しい課題に取り組むときは、スモールステップを設定し、一つ一つ理解度を確認し授業を進めているが、まだ全ての学生に行き渡っていないようだ。学生の思いに寄り添い、理解度を確認し、関心・意欲を喚起する工夫を考え授業を行って行きたい。

受講態度については、平均が 4.7 から 4.8 と高い評価だった。

発表、実践などの機会も多く、課題等にも積極的に取り組んでいる姿が多く見られた。

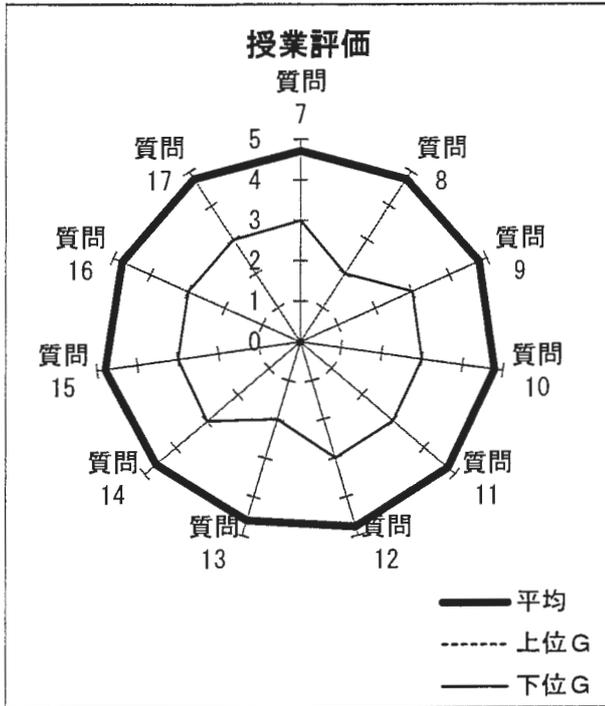
II. 2018 年度に向けての取り組み

2018 年度担当予定科目名 : 保育実習 I

今回の評価を踏まえ、次年度は授業ごとに学生が意欲を持って取り組めるよう課題を明確にし、学生の理解度を常に確認し、関心・意欲を引き出せるような授業展開を工夫していきたい。学生の思いに寄り添える、指導を行っていきたい。

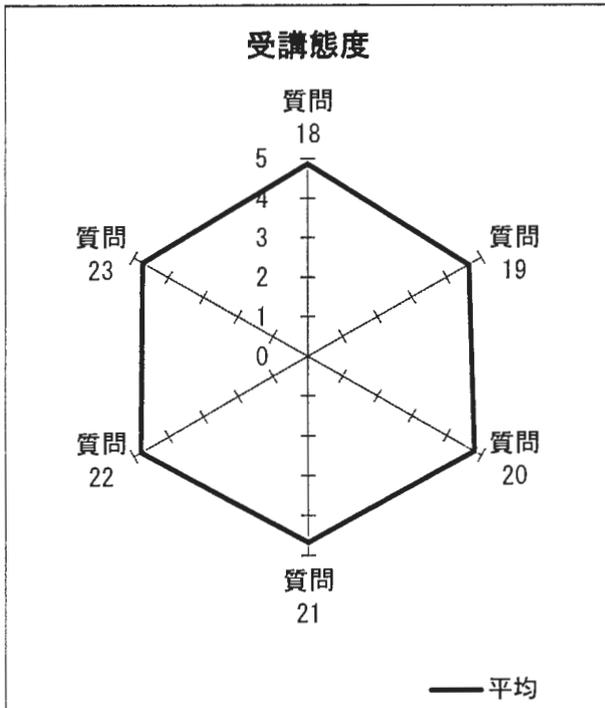
科目コード 824 (2017年度 前期)

健康生活学部 子ども学科 福地 友子 音楽表現Ⅱa



質問項目	平均	上位G	下位G
質問 7	4.7	4.8	3.0
質問 8	4.8	4.8	2.0
質問 9	4.8	4.8	3.0
質問10	4.8	4.8	3.0
質問11	4.8	4.8	3.0
質問12	4.8	4.8	3.0
質問13	4.6	4.7	2.0
質問14	4.6	4.7	3.0
質問15	4.8	4.8	3.0
質問16	4.8	4.8	3.0
質問17	4.8	4.8	3.0
平均	4.7	4.8	2.8

- 質問 7 : 授業の目標説明とシラバスに沿った実施
- 質問 8 : 教員の授業時間遵守
- 質問 9 : 教員の話し方
- 質問10 : 教材・機器・板書等の効果的な使用
- 質問11 : 教員の説明のわかり易さ
- 質問12 : 教員の授業環境に対する配慮 (私語の注意等)
- 質問13 : 質問機会の確保と質問への適切な対応
- 質問14 : 学生の理解度の確認と授業への反映
- 質問15 : (自分は) 授業を理解できたと思うか
- 質問16 : 授業は興味・関心・意欲を引き出したか
- 質問17 : 新しい知識・技術・理論等の習得への有用性



質問項目	平均
質問18	4.9
質問19	4.6
質問20	4.8
質問21	4.7
質問22	4.8
質問23	4.7
平均	4.8

- 質問18 : (自分は) 授業に真面目に取り組んだと思うか
- 質問19 : 授業内容や到達目標を理解して受講したか
- 質問20 : 欠席回数 (0回→5ポイント、1回→4、2回→3…)
- 質問21 : 授業の予習・復習をおこなったか
- 質問22 : レポート・課題等に積極的に取り組んだか
- 質問23 : 私語・携帯電話等の自粛、教員及び他者の発言傾聴

学 部 名	学 科 名	担 当 者 名	科 目 名	履 修 者 数
健康生活学部	子ども学科	福地友子	音楽表現Ⅱa	38名

2017 年度前期授業評価アンケート集計結果 : 教員による分析・評価と 2017 年度に向けての取り組み

I. 分析と評価

本調査の受講態度を見ると平均が 4.6 から 4.8 で、上位グループは 4.7 から 4.8 と概ね高い評価だったが、下位グループは、1 名のみだが、平均が 2.0 から 3.0 と低い評価をつけていた。特に質問 8 と質問 13 の 2 項目が 2.0 の厳しい評価となっていた。質問 8 「教員の時間厳守」においては、遅くとも開始時間 5 分前には教壇につき、終了もほぼ時間通りであったが、本教員の体調不良による休講・補講があり、学生にも負担をかけたことは否めない。質問 13 「質問機会の確保と質問への適切な対応」においても、授業終了後暫く教室に残り、質問の機会を作り、單元ごとに小テストを行い、理解度の低い学生にたいしては、個人指導を行った。さらに、授業の空き時間なども学生に伝え、積極的に関わるように心掛けた。がこのような厳しい評価が見られたことは真摯に受け止め、学生一人一人に寄り添える指導をおこなっていききたい。

受講態度についても、平均が 4.6 から 4.9 と高い評価だった。

発表、実践などの機会も多く、積極的に取り組んでいる姿が多く見られた。

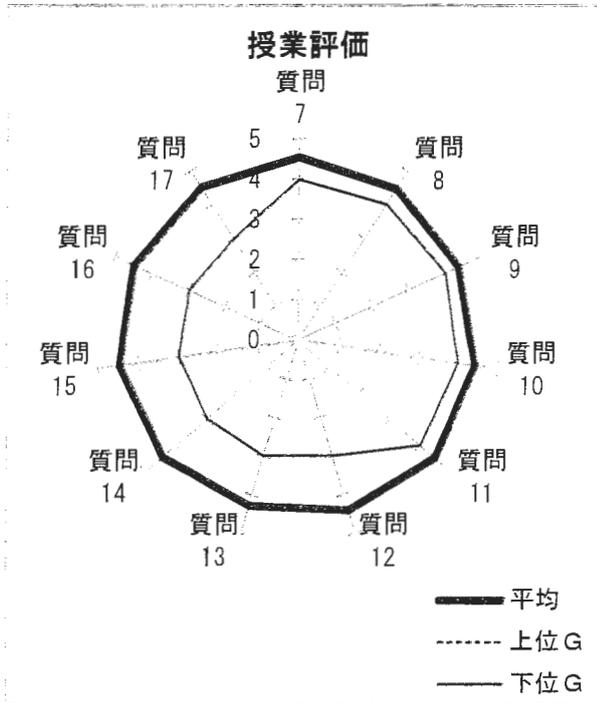
II. 2018 年度に向けての取り組み

2018 年度担当予定科目名 : 音楽表現Ⅱa

今回の評価を踏まえ、学生に理解度を確認し、関心・意欲を引き出せるような授業展開を工夫していききたい。学生一人一人に寄り添える指導を行いたい。

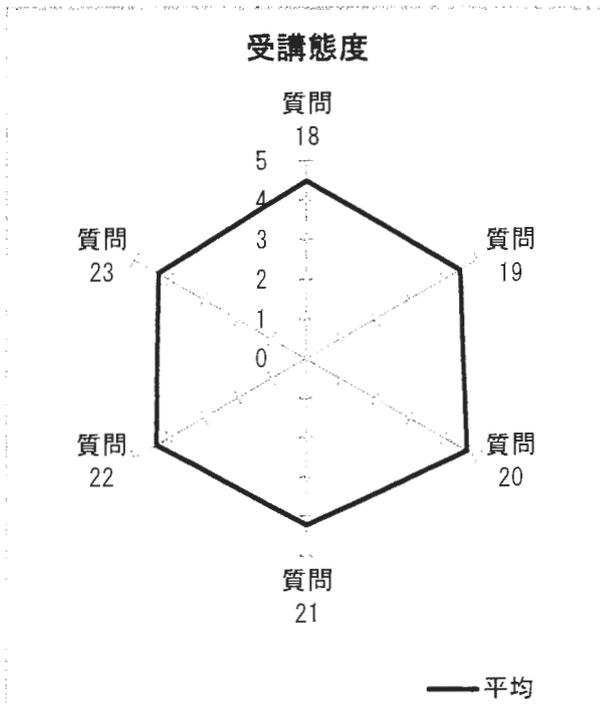
科目コード 825 (2017年度 前期)

健康生活学部 子ども学科 上出 恵子 絵本学



質問項目	平均	上位G	下位G
質問 7	4.5	4.6	4.0
質問 8	4.5	4.5	4.0
質問 9	4.4	4.4	4.0
質問10	4.4	4.4	4.0
質問11	4.5	4.5	4.0
質問12	4.4	4.4	3.0
質問13	4.3	4.3	3.0
質問14	4.5	4.5	3.0
質問15	4.5	4.5	3.0
質問16	4.5	4.5	3.0
質問17	4.5	4.6	3.0
平均	4.4	4.5	3.5

質問 7 : 授業の目標説明とシラバスに沿った実施
 質問 8 : 教員の授業時間遵守
 質問 9 : 教員の話し方
 質問10 : 教材・機器・板書等の効果的な使用
 質問11 : 教員の説明のわかり易さ
 質問12 : 教員の授業環境に対する配慮(私語の注意等)
 質問13 : 質問機会の確保と質問への適切な対応
 質問14 : 学生の理解度の確認と授業への反映
 質問15 : (自分は) 授業を理解できたと思うか
 質問16 : 授業は興味・関心・意欲を引き出したか
 質問17 : 新しい知識・技術・理論等の習得への有用性



質問項目	平均
質問18	4.5
質問19	4.5
質問20	4.7
質問21	4.2
質問22	4.4
質問23	4.3
平均	4.4

質問18 : (自分は) 授業に真面目に取り組んだと思うか
 質問19 : 授業内容や到達目標を理解して受講したか
 質問20 : 欠席回数(0回→5ポイント、1回→4、2回→3…)
 質問21 : 授業の予習・復習をおこなったか
 質問22 : レポート・課題等に積極的に取り組んだか
 質問23 : 私語・携帯電話等の自粛、教員及び他者の発言傾聴

学 部 名	学 科 名	担当者名	科 目 名	履修者数
健康生活学部	子ども学科	上出恵子	絵本学	46名

2017年度前期授業評価アンケート集計結果：教員による分析・評価と2018年度に向けての取り組み

I. 分析と評価

子ども学科2年前期開講で、必修ではありませんが、資格取得に関わるので比較的受講生の多い科目です。講義科目ではありますが、6月に保育所実習があるので、その準備として実践的な要素を取り入れ、グループワークも積極的に行っています。このような授業内容に伴い、アクティブ・ラーニングに対応した教室を使用しましたが、機材の関係で使用できない教材の時には教室変更が必要だったり、席の関係からグループが固定してしまったりで、アクティブ・ラーニングに対応した教室がかえって授業を落ち着きのない、また今ひとつ自由度に欠ける雰囲気を漂わせるものにしたようです。受講生同士の交流を図り、刺激しあうような働きかけが必要でした。質問12「教員の授業環境に対する配慮（私語の注意等）」(平均4.4)や質問23「私語・携帯電話等の自粛、教員及び他者の発言傾聴」(平均4.3)が全実施科目平均値を共に若干下回っているのは、そのあたりの事情ではないかと考えています。

受講生の要望で、今回「絵本学」では、長崎市立図書館のご協力を得て初めて学外研修を行いました。しかしながら、授業評価そのものはいつもより若干低めの平均4.4で、全体として何が問題であるのか知りたいところです。

カリキュラムの改定でこの授業科目は今回が最後となりますが、改善点や課題、また疑問等を積み残したまま終わるのが心残りではあります。

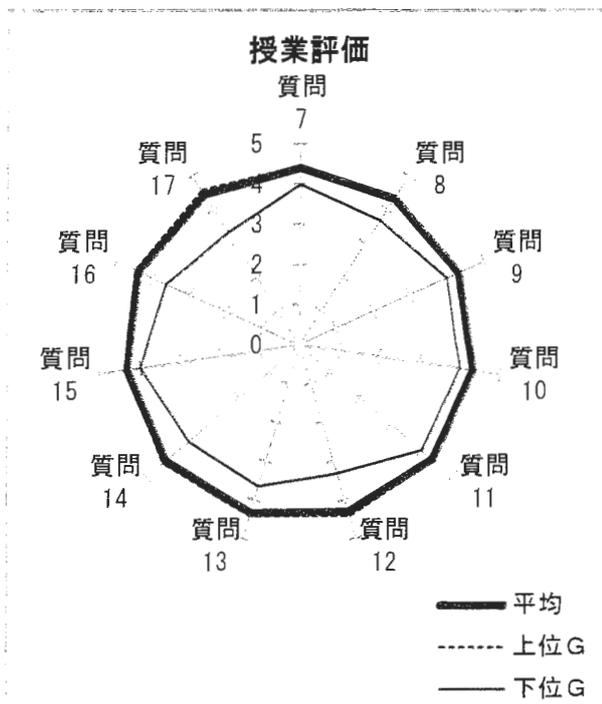
II. 2018年度に向けての取り組み

2018年度担当予定科目名： なし

(同じ、あるいは同様の科目を担当しない場合でも、新たな取り組みの可能性についてコメントする。)

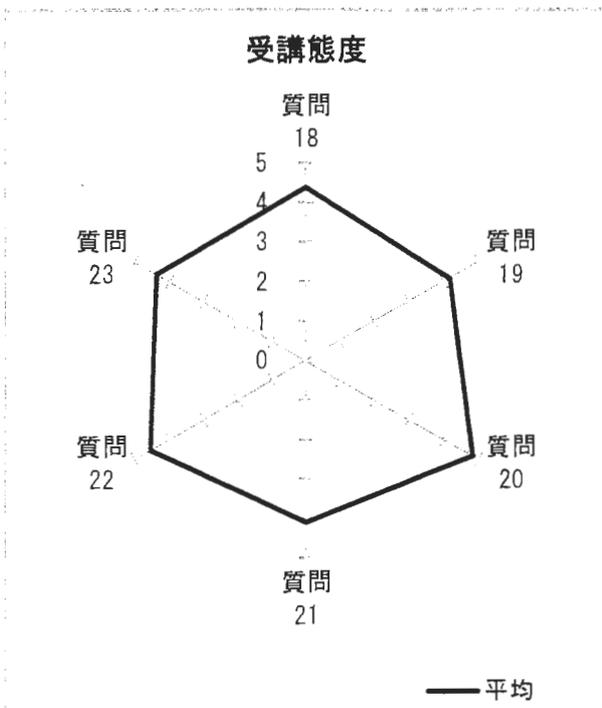
科目コード 826 (2017年度 前期)

健康生活学部 子ども学科 上出 恵子 言語表現 I



質問項目	平均	上位G	下位G
質問 7	4.4	4.5	4.0
質問 8	4.3	4.4	3.7
質問 9	4.3	4.3	4.0
質問10	4.3	4.3	4.0
質問11	4.3	4.4	4.0
質問12	4.3	4.4	3.3
質問13	4.3	4.4	3.7
質問14	4.4	4.5	3.7
質問15	4.3	4.4	4.0
質問16	4.4	4.5	3.7
質問17	4.4	4.6	3.3
平均	4.4	4.4	3.8

- 質問 7 : 授業の目標説明とシラバスに沿った実施
- 質問 8 : 教員の授業時間遵守
- 質問 9 : 教員の話し方
- 質問10 : 教材・機器・板書等の効果的な使用
- 質問11 : 教員の説明のわかり易さ
- 質問12 : 教員の授業環境に対する配慮 (私語の注意等)
- 質問13 : 質問機会の確保と質問への適切な対応
- 質問14 : 学生の理解度の確認と授業への反映
- 質問15 : (自分は) 授業を理解できたと思うか
- 質問16 : 授業は興味・関心・意欲を引き出したか
- 質問17 : 新しい知識・技術・理論等の習得への有用性



質問項目	平均
質問18	4.4
質問19	4.2
質問20	4.8
質問21	4.1
質問22	4.6
質問23	4.4
平均	4.4

- 質問18 : (自分は) 授業に真面目に取り組んだと思うか
- 質問19 : 授業内容や到達目標を理解して受講したか
- 質問20 : 欠席回数 (0回→5ポイント、1回→4、2回→3…)
- 質問21 : 授業の予習・復習をおこなったか
- 質問22 : レポート・課題等に積極的に取り組んだか
- 質問23 : 私語・携帯電話等の自粛、教員及び他者の発言傾聴

学 部 名	学 科 名	担 当 者 名	科 目 名	履 修 者 数
健康生活学部	子ども学科	上出恵子	言語表現 I	30 名

2017 年度後期授業評価アンケート集計結果：教員による分析・評価と 2018 年度に向けての取り組み

I. 分析と評価

1 年前期開講ですが、学科の専門科目で資格取得にも関わるため受講生は比較的多い科目です。今回初めて担当する科目ながら「言語表現Ⅱ」（3 年後期開講）は今も継続の担当科目なので、それとの関連で授業を組み立てました。したがって、先の見通しを示しながら丁寧に授業を行ってきたつもりでした。しかしながら、質問 7「授業の目標説明とシラバスに沿った実施」（平均 4.4）、質問 11「教員の説明のわかり易さ」（平均 4.3）といつもよりも評価は低く、質問 16「授業は興味・関心・意欲を引き出したか」および質問 17「新しい知識・技術・理論等の習得への有用性」も共に平均 4.4 と、思いのほか厳しい評価結果でした。今回参考に頂いた全実施科目平均値と比較しても、全体に微妙に低調であることが気になりました。個人ではなかなか分析できないこともあるので、全実施科目で素晴らしい成果を上げている授業担当者の授業の見学、もしくは担当者から授業方法等を伺う機会があれば有難く思います。

なお、最近の私個人の担当科目の課題に上位グループと下位グループの乖離というのがありますが、この授業に関しては、解消はされていないものの改善は進んでいることに安堵しています。質問 11「教員の説明のわかり易さ」の平均は 4.3 ながら下位グループは 4.0 で、丁寧な説明が下位グループの受講生にも届いたのだと思われます。欠席はしないものの、授業についていけない、分からない、面白くないという受講生が出ないように、学生の授業内容の理解度を把握し、有効な対応を引き続きはかっています。

II. 2018 年度に向けての取り組み

2018 年度担当予定科目名： _____ な し _____

(同じ、あるいは同様の科目を担当しない場合でも、新たな取り組みの可能性についてコメントする。)